

令和6年度（2024年度）

業務概要



センター全景

長崎県立こども医療福祉センター

〒854-0071 諫早市永昌東町24-3

TEL 0957-22-1300

FAX 0957-23-2614

基本理念

- こどもの心とからだの発達の支援と治療を行います。
- 家族への子育て相談と支援を行います。
- 保健、医療、福祉、教育などの関係機関と連携し、地域療育活動を支援します。

こどもの患者さんの権利

1. あなたの基本的人権を尊重します

私たち職員はあなたをかけがえのない一人の大切な存在として認めます。

2. あなたの個性、主体性を大切にします

私たち職員はありのままのあなたを大切にし、あなたが自信を持って成長したり自分の目標や夢を実現することができるように支援します。

3. 安全で安心できる入院生活環境を整えます

私たち職員はあなたが治療や回復にしっかり取り組むために、安全で安心できる入院生活を送れるようにします。

4. あなたの意見表明、自己決定を尊重します

私たち職員はあなたが自分の意見や要望を言うこと、治療や生活に支障がない限りの自分のことは自分で決めることを尊重します。

はじめに

当センターは、昭和 29 年に県立整肢療育園として開設され、肢体不自由児および重症心身障害児に対する療育・訓練を基本とした、医療と福祉を行う施設としてスタートしました。平成 13 年には「こどもの心と体の発達支援」を基本理念とした包括的療育拠点施設「こども医療福祉センター」としてリニューアルし、あらたに小児科を診療科目に加え、神経発達症、心身症、不登校、神経筋疾患、てんかんなど、多岐にわたる子どもの診療が可能な施設となりました。そして、県および県民の皆様の支えにより、平成 26 年には創立 60 周年を迎え、現在に至ります。

2020 年 4 月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する緊急事態宣言から 3 年が経過した昨年 5 月、同感染症の法律上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ「5 類」に変更され、社会経済活動も正常化されました。当センターでは、感染予防に留意しながらも、子どもたちと関わるにあたり、表情を見せる大切さを重視する観点から、可能な限りマスクを外し、笑顔で子どもたちに接することができるようにしています。

そのような中、当センターでは、組織全体として、そのあり方を深く考えさせられる事案が相次いで発生しました。ひとつは令和 5（2023）年度に発覚した施設内虐待、もうひとつは令和 6（2024）年度に発生した車椅子転倒事故です。

虐待については、職員の意識のアップデート、風通しのよい職場づくり、虐待防止対策委員会の充実、第三者評価の実施など、このような事案を二度と繰り返さないための方策に取り組んでいます。また、車椅子事故に関しては、原因究明と再発防止策の検討に努め、安全対策の整備を進めています。これらの対策を通じ、県民の皆様が安心して利用できる施設として、生まれ変わろうと日々努力しているところです。

また、当センターでは、昨年度から市町の実施する乳幼児健診事業への支援や県北地域および対馬での発達外来設置への協力など、新たな取組を始めました。これからも関係機関と連携しながら、すべての子どもたちが地域でより良い生活を送れるような環境を提供できるよう取り組んでまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和 6 年（2024 年）10 月

長崎県立こども医療福祉センター
所 長 小柳 憲司

目 次

I センターの概要

1	センターの業務と特色	1
2	施設概況等	1
3	施設基準等	2
4	沿 革	2
5	組 織	3
6	職種別職員数	3

II 入所・入院部門

1	実 績	4
2	担当スタッフ	4
3	業務内容	4
4	主な業務の特色	5
5	日課・年間行事	8

III 外来部門

1	実 績	10
2	担当スタッフ	10
3	業務内容	10
4	外来診療体制	10
5	主な業務の特色	11

IV 地域連携

V 発達障害児（者）支援

VI 栄養関係業務

VII 薬局・検査・X線撮影

1 薬局業務	27
2 臨床検査業務	29
3 X線撮影業務	30

VIII 心理業務

IX 研究・実習等

1 研究発表・講演・著作等	33
2 ボランティア活動	41
3 実習受入	42

X 建物概要

資料編

(1) 入院患者数の推移	44
(2) 外来患者数の推移	44
(3) 入所・入院患者の病類別人員	45
(4) 入所・入院患者の在所期間別	45
(5) 入所・入院患者の年齢別	45
(6) 外来患者の病類別延人員	46
(7) 外来患者の出身地別延人員	46
(8) 手術実績	47
(9) 訓練指導件数	48
(10) 入所児の要介護の状況	48
(11) 障害児等療育支援事業(実績)	49
(12) 医療等従事者実習(実績)	49
(13) 令和5年度障害児(者)巡回療育相談実施状況	50

I センターの概要

1 センターの業務と特色

当センターは、長崎県立児童福祉施設条例に基づく障害児入所施設（医療型）であるとともに、医療法による病院です。

従来、施設の利用は児童福祉法による入所措置（行政による決定）を原則としていましたが、平成18年10月の障害者自立支援法（障害者総合支援法）の施行に伴い契約入所が原則となりました。

当センターの契約入所児数は年々減少し、それに代わって医療保険による入院あるいは外来の治療・訓練が主となってきています。また、肢体不自由児施設として整形外科を中心としてきましたが、平成13年度、小児科各科の増設により小児医療の充実を図り、すべての障害児を対象とした県下の拠点的な施設としての役割を担っています。

これに合わせ地域療育部門を設置し、当センターのスタッフを保育所、幼稚園、学校、児童発達支援事業所等へ派遣し、地域の療育活動及び体制整備への支援を行ってきました。平成23年度からは地域連携室を設置し、同室を中心に地域支援を強化しています。

その他、早期治療の一つとして1週間、2週間コースの親子入院、就学前の発達障害児を対象とした集団親子入院、障害のある子どもを持つ保護者に対する子育て支援などの療育支援活動を行っています。なお、入院・入所中の児童は、隣接する長崎県立諫早東特別支援学校で義務教育を受けることができます。

2 施設概況等

項 目	内 容
所 在 地	〒854-0071 長崎県諫早市永昌東町 24 番 3 号
病 床 数	60 床（一般 50 床、親子棟 10 床）
診 療 科 目	【常設診療科】 整形外科、小児科(小児発達・小児神経・小児心療) 精神科、リハビリテーション科 【非常設診療科】 歯科、泌尿器科、耳鼻咽喉科
敷 地 面 積	18,646 m ²
建 築 面 積	7,569 m ² （1 階：4,155 m ² 、2 階：3,137 m ² 、3 階：277 m ² ）
構 造	鉄筋コンクリート造り 3 階建て
駐 車 場	175 台
交 通 機 関	J R 諫早駅より徒歩約 7 分 県営・島鉄バス(諫早駅前ターミナル)停より徒歩約 6 分

3 施設基準等（令和6年4月1日現在）

① 15歳未満

- ・小児入院医療管理料3
- ・プレイルーム加算（娯楽室）

② 15歳以上

- ・地域一般入院料2

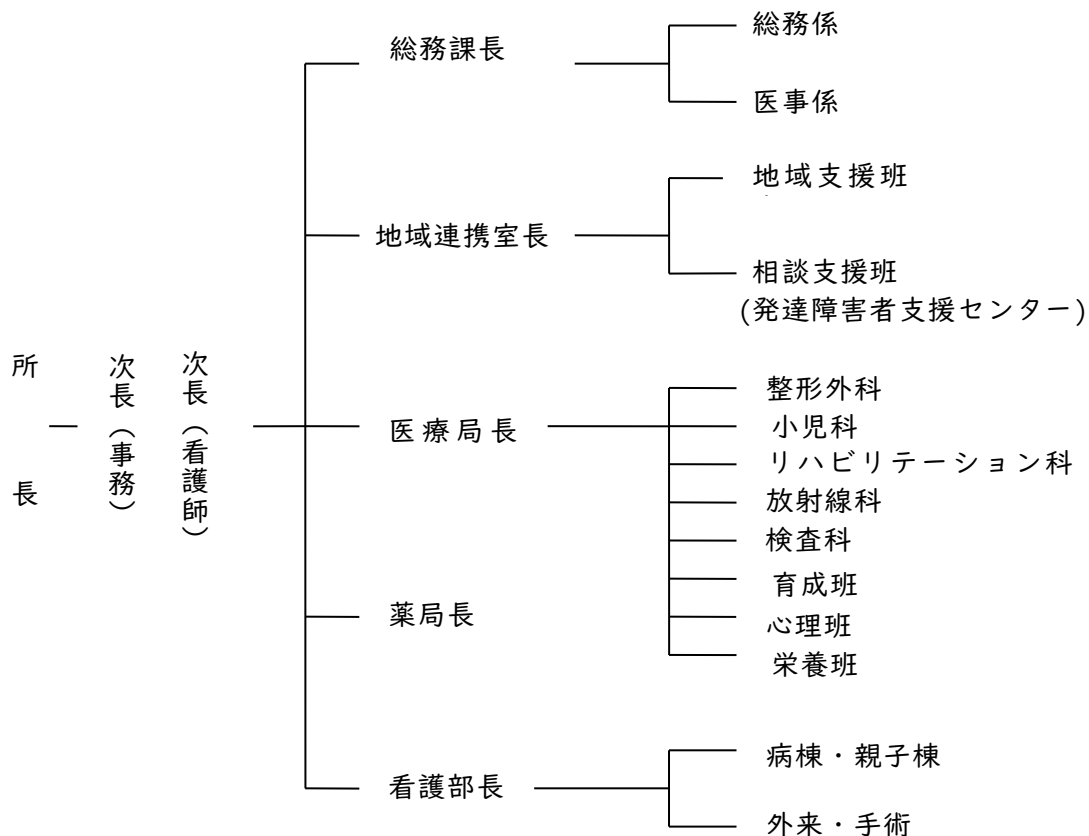
③ 共通

- ・重症者等療養環境特別加算
- ・療養環境加算
- ・小児運動器疾患指導管理料
- ・入院時食事療養（I）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
- ・運動器リハビリテーション料（I）
- ・障害児(者)リハビリテーション料
- ・CT撮影
- ・初診料（歯科）の注1に掲げる基準

4 沿革

昭和29年12月1日	長崎県立整肢療育園開設(50床)、21日第1回入園式
昭和34年5月1日	病床数50床増床により100床
昭和37年4月1日	病床60床(うち母子棟10床)増床により160床
昭和48年3月30日	本館、第1、第2病棟改築
昭和57年4月1日	島原通園部(島原温泉病院内)を設置
昭和59年11月7日	病床数160床を110床に変更
平成13年4月1日	「長崎県立こども医療福祉センター」に名称変更 病床数を60床(一般50床、親子棟10床)に変更
平成13年9月30日	島原通園部廃止
平成17年7月20日	新センター建物完成
平成17年8月22日	新センター業務開始
平成23年4月1日	地域連携室創設

5 組 織



6 職種別職員数 (令和6年10月1日現在)

職種	医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	看護師	社会福祉士	社福(心理)	保健師	保育士	管理栄養士	調理員	一般事務	相談支援等	運転士	庁舎管理	計
人員	9	1	1	1	(2) 6	(1) 7	5	(4) 34	5	(2) 5	1	(1) 13	2	(6) 3	(3) 6	(4)	1	(1)	(24) 100

()は非常勤(会計年度任用職員)で外数

Ⅱ 入所・入院部門

医療型障害児入所施設として、治療・訓練・生活指導など医療や育成の面で援助を行っています。また、不登校や概日リズム睡眠障害、起立性調節障害、摂食障害などの小児科疾患についても入院治療を行っています。なお、義務教育は隣接する諫早東特別支援学校（小学部・中学部）に通学できます。

Ⅰ 実績

令和5年度の入院延人員は9,425人で、実人員は707人でした。そのうち県外からの入院児は41人でした。

○令和5年度 出身地別入院実人員

出身地	実人員	出身地	実人員	出身地	実人員
長崎市	113	西彼杵郡	28	福岡県	13
佐世保市	22	東彼杵郡	20	佐賀県	18
島原市	36	北松浦郡	5	熊本県	1
諫早市	211	南松浦郡	10	大分県	1
大村市	89			宮崎県	1
平戸市	9			鹿児島県	1
松浦市	11			九州以外	6
対馬市	2				
壱岐市	1				
五島市	12			他県計	41
西海市	4				
雲仙市	57				
南島原市	36				
市部計	603	郡部計	63	合計	707

2 担当スタッフ ※他部門との重複を含む

医師：9名、薬剤師：1名、診療放射線技師：1名、臨床検査技師：1名、理学療法士：8名

作業療法士：8名、言語聴覚士：5名、看護師：28名、保育士：9名、児童指導員：2名

心理士：7名、管理栄養士：2名、調理員：9名

(令和6年10月現在)

3 業務内容

診察、治療、手術、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚療法（摂食指導を含む）、日常生活指導、学習指導、避難訓練、家庭との連絡、保育、評価、検査、福祉制度説明、プレイセラピー、カウンセリング（保護者）など。

4 主な業務の特色

(1) T. O. P. S. S

隣接する諫早東特別支援学校の自立活動の時間において、専門的な立場から指導目標、指導内容、指導方法等に関する指導助言を行っています。この名称を「T. O. P. S. S (トップス)」(※ Teacher, OT, PT, ST, Student の略称)と呼び、カンファレンスなどで共通の目標を設定し、情報交換を密に行うことで療育の効果をあげています。

理学療法士は年間を通じて火曜日・金曜日の 10:30~12:15、作業療法士及び言語聴覚士は学校の依頼に応じて参加しています。

○令和5年度支援実績

区 分	支援日数(日)	対象児延べ人数(人)
理学療法士	32	77
作業療法士	1	1
言語聴覚士	0	0

(2) 親子入院

主に脳性麻痺をはじめとする脳性発達障害児、および発達障害のおそれがある未就学児を対象としています。また、離島や各地域に居住し、通所治療が困難な場合や集中した療法(理学・作業・言語聴覚)および指導が必要な場合は、親子共に入院し、診療、相談、指導を受けることができ、整形外科医、小児科医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士、保健師、看護師、保育士、管理栄養士、調理員などのスタッフが担当します。

親子入院には、肢体不自由児を中心とした「らっこ組」と発達障害児を対象とした「めだか組」があります。

[目 的]

- ・両親を中心に無理なくできる育児、療育、保育など発達促進の工夫を家族が知り、家庭で継続して実践できるような指導や助言を受けていただく。
- ・子どもと親がゆっくり関われる時間を持っていただく。
- ・一緒に入院した他の家族と知り合い、交流の機会を持っていただく。

[開催時期]

- ・らっこ組：通年(1週間・2週間コースあり)
- ・めだか組：年6回(1週間)

[対 象 児]

- ・らっこ組：0歳~就学前の脳性麻痺をはじめとする肢体不自由児
- ・めだか組：3歳~就学前の歩行ができる発達障害児

人員 \ 年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用延人員(人)	97	112	104	97	106	110
実人員(人)	54	53	48	48	53	88

(3) 療育入院

主として発達障害児を対象とし、日帰りとし、1泊2日入院があります。療育入院は、心理発達検査、作業療法評価、言語評価の中から組み合わせて行っていますが、理学療法評価が加わる場合もあります。評価の結果から今後の支援や対応につないでいます。

人員 \ 年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用延人員(人)	306	316	310	295	299	318
うち日帰り	300	307	304	288	291	311
うち1泊2日	6	9	6	7	7	7
(特例) 2泊3日						

(4) 短期入所 (ショートステイ)

障害のある児童及び身体障害者を介護している家族が、レスパイトやきょうだいの行事等への参加、通院などのために家庭で介護することが一時的に困難になった場合に、当センターをショートステイ施設として利用していただいています。

ショートステイを初めて利用する場合は、利用前に小児科受診を勧め、ショートステイ当日は、医師の健康チェックを行っています。また、家族からの情報(注意事項・要望)を得、医師・看護師・保育士等で共有し関わっています。

利用は、重症心身障害児が多いため、対象児の安全に心がけ、看護師・保育士が協力して対応しています。

区 分		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用実人員(人)		25	20	9	13	21	30
延べ日数(日)		405	245	47	71	179	337
利用期間	日 帰 り(回)	22	7	21	4	7	8
	1 泊 2 日(回)	36	30	42	16	39	37
	3 日 以 上(回)	92	10	39	9	23	60
利用回数	1 回(人)	6	2	7	4	9	6
	2 回(人)	6	4	3	6	3	9
	3 回 以 上(人)	13	3	10	3	9	15

(5) 病棟・親子棟の看護

看護部では、「私たちは、自らの資質を高め、センター内外の関係職種と連携し、児がその子らしく成長発達ができるように援助します。」という理念のもとに看護を提供しています。

看護の提供方式は、固定チームナーシング方式で、1年間、看護部目標、病棟目標と連動してチーム目標を立てて取り組んでいます。現状の問題点を分析し、実現可能な目標を設定し、課題達成に向けて看護活動を実施しています。技術の伝承ができるように、小集団活動として取り組み、看護実践にいかしています。年度末にはチーム活動報告会を行い、看護研究に発展させています。

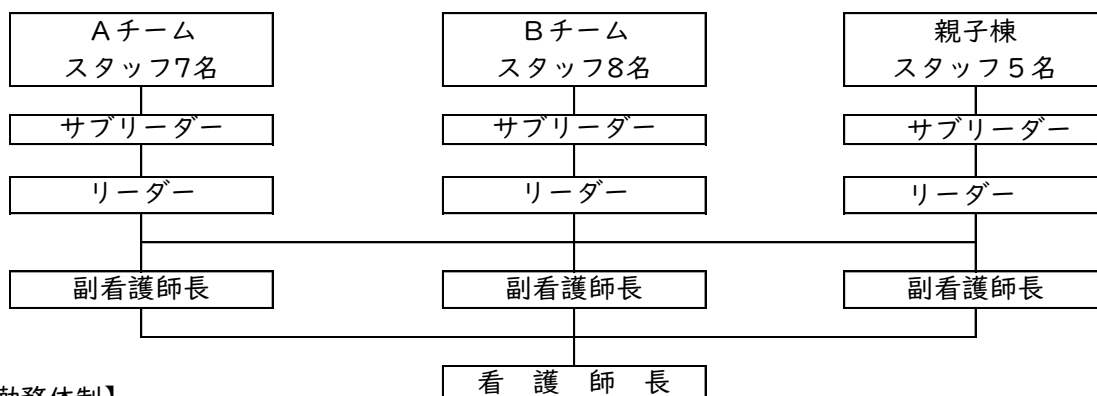
病棟では、看護師と保育士の協働で、入院・入所児の食事や入浴など日常生活や余暇活動の支援にあたっています。多職種での毎朝の申し送りと週に1回の合同カンファランスを行い、情報を共有し、効果的な支援が実践できるよう努めています。

また、入院中の就学児童は、隣接する諫早東特別支援学校で教育を受けています。同校の教員とは、日々の引継ぎや整形カンファランス、小児カンファランスで情報を共有し、連携を図っています。

【チームの特性】

区分	対象児	入院・入所児の状態
Aチーム	①手術やリハビリを目的に入院・入所する児(者) ②ショートステイ	①介護度が高い ②言語的コミュニケーションの障害を持っている児がいる。 ③危険認知が乏しい児がいる。
Bチーム	①小児心療科の児 ②てんかんの検査・治療を目的とする児 ③医療的ケアが必要な児(者)	①日常生活の自立度が高い ②入院期間は、1泊2日～1週間の検査入院。内服調整入院。また心療では、数ヶ月～1年に及ぶ児もいる ③介護度が高い
親子棟チーム	①肢体不自由児や医療的ケア児とその保護者 ②療育が必要な発達障害児とその保護者	①保護者同伴のリハビリ入院 入院期間は1又は2週間 ②発達の評価を目的とした評価入院 入院期間は日帰りまたは1泊2日

【チーム編成】



【勤務体制】

区分		月	火	水	木	金	土	日
深夜(1:00～9:45)	看護師	3	3	3	3	3	3	3(2)
早出(7:00～15:45)	看護師			1		1		0(1)
早出(6:15～15:00)	保育士	2	2	1	2	1	1	1
	計	5	5	5	5	5	4	4
日勤(9:00～17:45)	看護師	8～12	8～12	8～12	8～12	8～12	4	4
	保育士	3～4	3～4	3～4	3～4	3～4		
	計	11～16	11～16	11～16	11～16	11～16	4	4
準夜(17:00～1:45)	看護師	3	3	3	3	3	2(3)	3
遅出(12:30～21:15)	看護師	1	1	1	1	1	1(0)	
	保育士	2	2	2	2	1	1	2
	計	6	6	6	6	5	4	5

(6) 生活支援

育成班では、それぞれの能力や目的に応じた身辺自立と、社会性や協調性を身につけ楽しく集団生活を送ることができるように、看護師と協力して支援を行っています。

5 日課・年間行事

①日課表

日課

起床・排泄・更衣・洗面	6 : 3 0
朝食準備	7 : 1 0
朝食	7 : 3 0
登校(授業)	8 : 2 0
幼児保育 10:30~11:15	}
検温・昼食(センター)	1 2 : 2 0
歯磨き・登校	1 3 : 0 5
下校	1 4 : 0 0
入浴・リハビリ・ 余暇活動・おやつ	}
夕食準備	1 7 : 2 5
夕食	1 8 : 0 0
歯磨き	1 9 : 0 0
学習、余暇活動	}
	2 0 : 0 0
就寝準備	2 0 : 3 0
消灯	2 1 : 0 0

②主な年間行事(*学校と共催)

5月(*療育運動会)、8月(夏祭り)、11月(秋のレクリエーション)、

12月(クリスマス会)、2月(エール会)、

その他:避難訓練(毎月:第4水曜日)、ブラッシング(毎月:第1・2月曜日歯科衛生士来所)

■所内での生活等

看護師、保育士、児童指導員が看護と日常生活を通じた療育（治療と育成）を行います。

また、夏祭り、クリスマス会などの諸行事により、集団生活を通して社会性を養います。

夏祭りのようす



クリスマス会のようす



節分のようす



卒業を祝う会のようす



外来部門

発達に障害を持っている児を対象に、医療、各種機能訓練、集団療育、心理療法、幼児保育、療育相談などを行っています。診療科目は整形外科、小児科（小児神経・小児発達・小児心療）、リハビリテーション科に加えて、非常設科として、小児歯科、耳鼻咽喉科、泌尿器科の診療を行っています。

1 実績

令和5年度の外来患者数は、のべ30,555人。1日平均患者数は、個別訓練や集団療育を含めると124人/日。また、小児科診察で新患、再診の多い曜日には、152人/日の外来者があります。言語の遅れや落ち着きがないなどの小児発達や不登校などの小児心療科を受診する児は、増加しており、巡回療育相談や健診、地域の小児科からの紹介、保育所や学校からの紹介が増えています。

はじめての受診後は、当センターや地域での療育につなげています。

また、専門医がいない地域などに出向いて診療を行っており、令和5年度は諫早総合病院、西海市等乳幼児健診、五島中央病院、上五島病院、対馬病院、長崎大学病院小児科、長崎子ども・女性・障害者支援センター、佐世保市子ども発達センター、佐々町立診療所となっています。

2 担当スタッフ ※他部門との重複を含む

医師：9名、薬剤師：1名、診療放射線技師：1名、臨床検査技師：1名、理学療法士：8名
作業療法士：8名、言語聴覚士：5名、看護師：7名、保育士：4名、児童指導員：2名
心理士：6名、管理栄養士：2名、調理員：8名 (令和6年10月現在)

3 業務内容

診察、治療、手術、看護、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、療育相談及び指導、栄養指導や摂食指導、幼児保育や療育、検査、福祉制度説明、プレイセラピー、ペアレントトレーニング等

4 外来診療体制

以下の体制で、予約制をとり診療しています。けいれん発作やけいれん重積発作、肢体に基礎疾患のある児（者）の骨折などは、緊急対応を行います。診療は発達状況や障害の評価が必要に応じて行われます。

常設科	小児整形外科：月・水・金曜日（火曜日は手術） 小児発達・神経・心療：月～金曜日（新患は月・火・水・木の主に午前中）
非常設科	障害児歯科：月・火曜日 耳鼻咽喉科：第1木曜日 午後 泌尿器科：第2・4木曜日 午後
診察時間	9：00～17：00
休診日	土・日・祝日

5 主な業務の特色

1) 幼児保育

(1) 趣 旨

医師をはじめ、多職種との連携のもとに発達段階に応じた保育を行い、子どもの持つ能力を引き出すとともに、集団への適応力を育て、地域の保育所や幼稚園への就園、通所支援事業所等利用へとつなぐことを目指します。

(2) 目 的

- 「遊び」を通じて様々な発達を促す。
- 基本的な生活習慣の自立を目指す。
- 保護者の保育への参加を通して、子どもへの関わりについて支援する。
- 地域の保育所、幼稚園へ入所する前段階と考え、集団への適応力を育てる。
- 保護者間の交流を深め、育児の不安や悩みを話す場として活用してもらう。
 - 病棟児・・・個々に応じて遊び方を工夫し、関わる職種間で連携・協力し、術後の回復やリハビリにしっかりと取り組めるように支援する。
 - 親子入院・・・（リハビリ、ハンドリングが目的の入院）
 - 保育の中で、入院目的に応じた観察およびアプローチを行う。保護者に対して、家庭での遊び方や関わり方を支援する。
 - 外来児・・・個々のケースを観察し、発達段階に応じたアプローチを行う。親子保育を通して、保護者の子どもへの関わり方を支援する。地域の児童発達支援の利用や幼稚園・保育園の就園に向けて、集団への適応力を育てる。

(3) 対象児

- 医師の指示による未就学児
- 医師が幼児保育の必要性を認めた児
- 外来児については、保育所・幼稚園に就園していない児
- 評価、診察待機児

(4) 保育時間と内容

病棟・親子入院（月～金）	外 来（火～金）
10:30 受け入れ 出席カード・名札貼り・自由遊び	10:00 受け入れ 自由遊び
10:45 体操、マッサージ、お集まり、ふれあい遊び、カレンダー、お天気調べ、呼名、ペープサート	10:30 体操、呼名、ふれあい遊び マッサージ、ペープサート 設定保育（手を使ったあそび、運動あそび、リズムあそび・音楽療法）
11:00 設定保育（手を使ったあそび、運動あそび、リズムあそび、音楽療法）	
11:15 おかえりのあいさつ	11:15 おかえりのあいさつ
外 来（評価待機児）（月）	め だ か
10:00～11:00 ひよこグループ 3歳以下	10:40～11:10（S I室）自由遊び、サーキットなど 11:10～11:15 排泄指導 11:15～11:45（集団療育室）リトミック、マッサージ、認知課題、制作など

(5) その他

- ・保護者勉強会・・・・・・・・・・専門職種との懇談を通して、子育てに関する知識を得る機会を設定。
- ・園への技術支援・・・・・・・・・・就園後、保護者や園の依頼に応じて園支援を行う。就園先の職員の訪問・見学を受け入れる。

(6) 保育実績

区 分		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
外来	実人員	13	13	11	9	6	
	延人員	226	199	191	124	89	
病棟	実人員	26	17	13	20	10	
	延人員	694	392	370	477	186	
親 子 棟	らっこ	実人員	48	43	38	40	35
		延人員	487	458	410	435	351
	めだか	実人員	10	6	11	10	6
		延人員	67	30	62	51	32
	プレ	実人員	3	-	-	-	-
		延人員	12	-	-	-	-
合計	実人員	100	79	73	69	57	
	延人員	1,486	1,079	1033	1087	658	

※プレスクールは H30 まで実施 RI は「いるか」として実施

2) 外来・手術室の看護

外来・手術室は一単位であり、前述の看護部の理念をもとに看護を提供し、児(者)への援助の充実を図っています。

外来では、診察・治療・検査時の介助をはじめ、次回の外来予約（診療・処置・検査等）や入院予約時の対応など医師・療法士・心理士・検査技師・診療放射線技師・病棟看護師等の多職種と連携を図りながら援助しています。

また、保護者支援として保健師・社会福祉士・保育士と連携を図り、地域での援助につなげています。手術担当者は、外来で行われる手術前の診療から同席し、入院後に行う術前訪問等、手術前から児(者)や家族と関わっています。プレパレーションに力を入れ不安の軽減に努めています。また、手術時は安全・安楽に努め、手術後の病室訪問までを医師や病棟看護師と連携を図りながら行っています。

○外来・手術室業務

外来	診療の介助 リハビリ前の診察介助 診療後の再診予約受付と調整 入院の受付 こどもの状況・心療に関する相談 ギプス巻き介助 処置介助 診療材料管理
手術	手術前の診療介助 手術中の介助 手術前後の訪問 中材業務



手術室

脳性麻痺・股関節脱臼・内反足・四肢変形などすべての小児整形外科疾患・外傷を対象として手術治療も行います。

3) 外来訓練

(1) 理学療法

[目的]

主に運動発達の遅れや運動障害のある子どもに対して、遊びや生活に必要な粗大運動能力（寝返る・起き上がるなどの姿勢変換能力、座る・立つなど姿勢保持能力、這う・歩くなどの移動能力）の向上を目指した治療や運動を行います。

重い運動障害を持つ子どもに対しては、日常生活を快適に過ごせるように、全身状態の改善・変形予防などの姿勢ケアを目指し治療を行います。また、家庭や学校などでの生活を快適・容易にするために、能力に適した椅子や車椅子・歩行器などの製作をお手伝いします。

[対象]

新生児から成人までと年齢は幅広く、中でも乳幼児から中学生までが多く、主な疾患は脳性麻痺、運動発達遅滞、脳炎後遺症、染色体異常、二分脊椎、脊椎側弯、骨形成不全症、発達性協調運動症、その他整形疾患などです。

[スケジュール]

- ・個別 月曜日から金曜日の9：15～17：10で予約制
- ・プール療法 毎週木曜日の11：00～12：00

(2) 作業療法

[目的]

発達段階において何らかの困難さ・苦手さがある子ども達に対し、遊びを中心とした作業活動を通して、個々の子どもの発達課題や生活を考慮した治療を行います。また、障害があっても家庭や学校、社会で生き生きと生活できるよう指導、援助を行います。

[対象]

乳幼児から学齢児までの自閉スペクトラム症、限局性学習症、注意欠如多動症、発達性協調運動症等の発達障害児。知的発達症。染色体異常、脳性麻痺、脳炎後遺症など肢体不自由児。

[スケジュール]

- ・個別 月曜日から金曜日の9：15～17：10で予約制

(3) 言語聴覚療法

[目的]

コミュニケーションや、摂食・嚥下機能に何らかの困難さや苦手さがある子どもたちに対し、コミュニケーション手段の獲得、言語能力の向上、安全な摂食・嚥下機能の獲得を目的として、評価、訓練、助言等の援助を行います。

〔対象〕

乳幼児から学齢児までの自閉スペクトラム症、限局性学習症等の発達障害児、言語症や語音症などのコミュニケーション症、染色体異常、脳性麻痺、脳炎後遺症などの肢体不自由児、聴覚障害。

〔スケジュール〕

- ・個別 月曜日から金曜日の9：15～17：10で予約制

（４）集団療育

自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、発達性協調運動症、知的発達症などの子ども達に対してグループでの活動を実施します。

〔目的〕

- ① 医師、療法士、保育士、心理士他、様々な職種が一体となって子ども達の全体的な発達を促し、将来家庭や地域の中での自立・適応を目指します。
- ② グループ活動を通し、対人意識・対人関係能力を高め集団生活への適応を促します。
- ③ 保護者に対して、子ども達への関わり方や理解を深めるよう支援します。
- ④ 関係機関を訪問する等して連携し、子ども達への相互理解を深めます。

〔対象〕

対人コミュニケーションが上手くとれない、落ち着きがない、集団生活になじみにくい、認知能力に大きな偏りがあるなどの特性がある幼児から小学生で、医師が集団療育を必要と認めた方です。

- ・午前グループ：超早期(初診受付時、3才未満)、超早期フォローアップ
幼児（年齢と特性に応じたグループ）

- ・午後グループ：幼児、学齢児

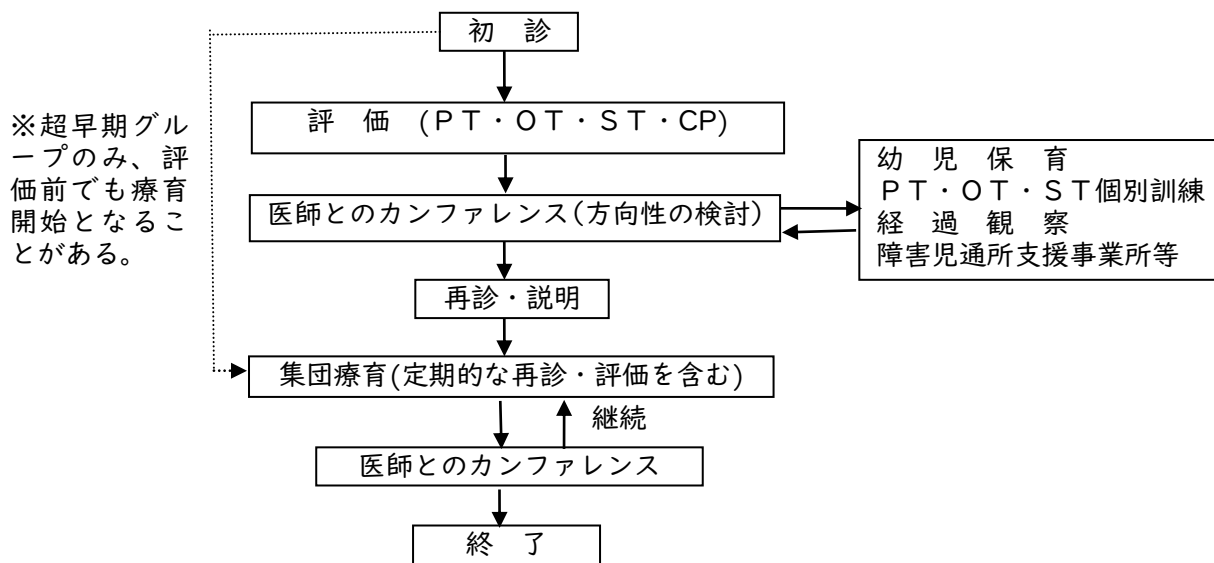
〔頻度〕

- ・月2回～月4回（対象児による）

〔内容〕

- ・小集団活動の中で子どもの状態に応じた課題や遊びを通して、対人意識やコミュニケーション能力を高め、ソーシャルスキルを学ぶ場を提供します。
- ・得意な活動とともに、苦手な活動にもチャレンジできるような場面設定や対応の仕方を工夫し、自信をつけられるように支援します。
- ・家庭や園・学校での様子を把握し、療育活動と関連づけ、保護者が療育及び子どもへの理解を深められるように支援します。また、言語、運動、遊び、日常生活動作、就学、福祉制度などについて専門職種による保護者勉強会を実施します。
- ・子どもが所属する園や学校などを訪問、支援するとともに、必要に応じて保護者によるサポートブック作成を援助し、地域で安心して生活するための一助とします。

《集団療育の流れ》



○療育登録者及び参加人数の推移(年度)

区分	元年	2年	3年	4年	5年
登録者数	82	82	75	62	55
参加実人員	82	79	73	62	55
参加延人数	1,191	1,142	941	965	820

○関係機関訪問実績(年度)

箇所／年度	元年	2年	3年	4年	5年
幼稚園	8	1	0	3	0
保育所(園)	24	3	9	6	8
こども園	4	0	1	0	0
小学校	11	2	8	8	3
事業所	8	0	3	0	1

○令和5年度学年別・居住地別登録者数

未満児	20
年少	11
年中	1
年長	5
1年	3
2年	2
3年	6
4年	2
5年	0
6年	5

諫早市	30
大村市	15
長崎市	5
雲仙市	5
県外	0

IV 地域連携

当センターは県内の療育支援の中核的役割を担う施設として、体制の充実・強化および地域支援を「障害児等療育支援事業」として実施してきました。

平成23年度に地域連携室を新設し、従来の地域との連携や支援を充実させ、相談窓口および外来・リハビリ予約業務等を一元化し、利用者へのサービス向上を目指しています。

※当センターにおける「障害児等療育支援事業」は在宅の障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育拠点施設としての当センターの機能を活用して、療育支援体制の充実を図り、身近な地域で安心して暮らすための福祉の向上を目的としています。

1 訪問による支援（訪問療育相談支援事業）

① 巡回療育相談（実績一覧は資料編参照）

県立保健所や市町と連携しながら、当センターのスタッフが班を編成して、各保健所管内を巡回や家庭訪問により療育相談を行います。この相談の中で、当センター機能（外来受診、親子入院等）の紹介や地域の社会資源（医療機関、児童発達支援事業所、保育所・幼稚園、学校等）との連携をとることで、障害児の地域生活を支援します。

○実施回数：18回（延38日） 相談件数139件

※この巡回療育相談の機会を利用し、地域で療育に携わる保健師・保育士等の療育関係者や保護者への研修会も開催しています。

② 関係機関訪問

当センターの療育を利用する児童が通う幼稚園・保育所・学校等を担当スタッフが訪問し、日常生活の様子を知ることにより、児童を取り巻く関係者と課題を共有し、当センターでの療育と地域での生活が一貫した支援の中で行われるよう取り組んでいます。

○訪問件数：12件（訪問先：学校3、幼稚園・保育所8、事業所1）

○派遣職種：OT1名、保育士17名

2 外来療育等相談

外来時等に保護者や関係機関等から福祉制度、社会資源に関することや療育に関する相談などに応じています。

○相談対応：652件

3 地域生活支援（地域生活特別支援事業）

専門性が高く、市町での対応が困難な事例については、市町の求めに応じ、当センターの専門機能を生かした支援を行います。

○実績：15件（要保護児童地域対策協議会個別ケース検討会出席等）

4 県内の療育機関との連携や地域療育に関する啓発（地域療育支援事業）

①県内の診療・療育体制についての課題、連携のための方策等の協議

会 議 名	実 施 日	参 加 機 関
地域療育担当者会議	R5.4.28	集合形式で開催。 県北保健所、五島保健所、上五島保健所、 壱岐保健所、対馬保健所、県障害福祉課、 県こども家庭課、 こども医療福祉センター 計20名
こどもセンター等関係機関連絡協議会	R5.6.27	オンライン会議。長崎市障害福祉センタ ー、長崎市障害福祉課、佐世保市子ども 未来部、佐世保市子ども発達センター、 県こども家庭課、県障害福祉課、 こども医療福祉センター 7機関 27名
児童発達支援センター連絡会	R5.7.7	集合形式で開催 16機関 39名参加

②地域療育関係機関の従事者への研修及び実習

研 修 ・ 実 習 名	対 象 者	実 施 日	参 加 者 数(延べ)
地域療育従事者等研修会	県・市町保健師等 障害児通園事業ス タッフ	① R5.10.26～27 「肢体不自由児編」 ② R5.12.7～8 「小児発達編」	①55人 ②99人
地域療育短期実習	指導員・保育士・ 幼稚園教諭等	集団療育コース 17回23日 幼児保育コース 3回 3日	47人 6人
障害児療育関係実習	障害児療育関係者	延べ8日	17人
児童発達支援センター 人材育成支援長期研修	児童発達支援セン タースタッフ	Co事業継続のため休止中	—

5 施設等への技術支援

支援内容	支援対象	派遣職種・職員数(延)
障害児通所支援事業所支援	障害児通所支援事業 所等 2ヶ所 延べ4回	派遣職員：OT2名、ST2名、 保育士4名 計8名
関係機関への技術支援	学校 9回 保育所・幼稚園 0回 計 9回	派遣職員：OT4名、ST4名 PT5名 計 13名
(うち受診前技術支援)	(学校 0回 保育所・幼稚園0回 計0回)	(0名)
リハ・集団療育実施場面の見 学受け入れ	学校 83回 保育所・幼稚園12回 施設・事業所 18回 計 113回	対応職員：PT88名、OT16名、 ST9名、保育士3名 計116名
研修会への講師派遣	学校 計2回	派遣職員：心理士1名、 保育士1名 計 2名
	計 128回	計 139名

6 発達障害児地域療育連携推進事業

- ① 地域の中核となる児童発達支援センター職員の療育スキルの向上を目的とした技術支援や研修等を実施します。
- ② 療育機関や医療機関など発達支援の資源が少ない県北圏域、離島地区の療育スキル向上のため、技術支援や研修、および、園訪問への同行支援を実施します。
- ③ 療育に関わる職員の療育スキル向上、事業所間の連携を図る場（こども支援会議等の地域のネットワーク）の構築への協力、アドバイザー参加、講師派遣を実施します。

【施設等への技術支援】（地域支援コーディネーター事業）

児童発達支援センター	事業所	保育所等	研修会	事業所連絡会等	計
12回	3回	0回	8回 (内 OL※※1)	0回	23回

※※OL=オンライン

V 発達障害児（者）支援

平成17年4月1日施行された「発達障害者支援法」に基づき、こども医療福祉センター地域連携室相談支援班を発達障害者支援センター「しおさい」として位置づけ、発達障害児（者）及び家族等の支援を行っています（平成17年1月17日事業開始）。

平成28年5月の法改正により、発達障害児（者）やその家族等が身近な地域で支援が受けられるよう適切な配慮をするものと規定されたことから、地域支援体制の確立に向けて、「困難事例等への支援」や「支援機関の対応力の向上支援」などの専門的機能をさらに充実していく必要があります。

1. スタッフ

センター長（小児科医師）、副センター長（社会福祉職）
 係長（社会福祉職）1名、主任主事（社会福祉職）1名、相談支援員2名、
 地域支援マネジャー2名（平成26年度～）
 ※センター長及び副センター長はこども医療福祉センター職員が兼務。

2. 支援対象者

- ① ASD（自閉スペクトラム症）、SLD（限局性学習症）、ADHD（注意欠如・多動症）などの特有の発達障害を有する障害児（者）及びその家族
- ② ①を支援する人及び関係機関

3. 業務内容及び実績

		(年度)	R3	R4	R5
1. 相談支援・発達支援 (※下記2.を除く全てのケース)	(1) 実支援人数・延支援件数	実人数	271	214	191
		延件数	503	349	481
	(2) 心理学的判定	実人数	6	3	8
	(3) 相談支援・発達支援に伴う情報共有（調整会議）	延件数	5	13	1
	(4) 相談支援・発達支援に伴う関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）	延件数	95	74	43
(5) 相談支援・発達支援に伴う関係機関との連携	延件数	195	168	103	
2. 相談支援・就労支援 (※就労支援に重点を置いた支援が行われたケース)	(1) 実支援人数・延支援件数	実人数	60	50	52
		延件数	492	401	469
	(2) 相談支援・就労支援に伴う情報共有（調整会議）	延件数	2	3	3
	(3) 相談支援・就労支援に伴う関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）	延件数	20	28	27
(4) 相談支援・発達支援に伴う関係機関との連携	延件数	124	62	95	

○関係機関、民間団体等への研修（令和5年度）

研 修 名	内容(演題)等
発達障害相談支援 従事者育成研修 (オンライン開催)	対象：市町職員、相談支援事業所職員、障害者就業・生活支援センター職員、保健所職員 内容：3回シリーズ ・発達障害者支援施策や取組について ・発達障害の基本的理解、行動特性への対応 ・支援の基本的な考え方 ・支援の実際と社会資源の活用、連携の仕方 ・家族の体験談 ・意見交換
発達障害相談支援 従事者育成研修 フォローアップ 研修会 (開催なし)	/
研修会等への 講師派遣(16箇所)	「発達障害の理解と対応について」 「子どもの発達特性への理解と対応」 「発達障害のある子どもの支援に関する制度やサービスについて」 「みんなにやさしい就労支援～発達障害へのアプローチから学ぶ」 他

○普及啓発研修(令和5年度)

研 修 名	内容(演題)・講師等
しおさいセミナー	講演 『大学の視点から考える！発達特性のある児者の成長段階に応じた対応と支援』 講師 Peter Bernick（長崎大学障がい学生支援室 助教） 対談者 Peter Bernick（長崎大学障がい学生支援室 助教） 当事者2名
しおさい ミニセミナー	講演 『ゲーム・SNS依存の仕組みとその対応』 講師 三谷 亨（松元リカバリークリニック 精神保健福祉士／公認心理師）

VI 栄養関係業務

入院児に対して各児の咀嚼能力や摂取能力に応じた形態別・栄養量別食事を提供しています。

(表①)

病棟及び親子棟入院児・外来患者に対する栄養指導（相談）を実施しています。（表②③）

季節の行事食及び年3回のお楽しみメニューを提供しています。（写真）

① 入院児の形態別・栄養量別食数（表①）

区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		月平均	年計	月平均	年計	月平均	年計	月平均	年計
※ 幼児食	常※	160	1,925	247	2,966	129	1,543	227	2,727
	粗※	36	430	56	671	114	1,369	32	384
	中※	122	1,461	35	418	80	963	25	295
	極※	19	231	10	118	13	154	9	109
	小計	337	4,047	348	4,173	336	4,029	293	3,515
※ 小児食(小)	常	132	1,589	326	3,906	150	1,803	177	2,123
	粗	6	72	18	210	39	467	33	397
	中	36	434	41	494	21	256	13	150
	極	1	12	0	1	0	0	7	83
	小計	176	2,107	384	4,611	210	2,526	225	2,753
小児食(中)	常	382	4,589	390	4,680	277	3,319	444	5,324
	粗	4	45	0	4	8	100	7	82
	中	18	212	14	169	37	448	3	38
	極	0	3	21	253	0	0	11	130
	小計	404	4,849	426	5,106	322	3,867	465	5,574
小児食(大)	常	864	10,368	479	5,747	365	4,380	420	5,035
	粗	0	0	0	0	0	0	10	116
	中	0	0	2	19	3	35	2	24
	極	0	0	0	0	5	61	0	0
	小計	864	10,368	481	5,766	373	4,476	431	5,175
常食計		1,781	21,371	1,638	19,656	1,242	14,898	1,557	17,017
特食	術後食	0	2	0	0	0	0	0	0
	カルシウム	0	0	0	0	0	0	0	0
	離乳食	33	391	34	409	25	297	3	40
	減量食	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペースト・ソフト食	92	1,099	93	1,116	95	1,134	99	1,185
	貧血・造血食	0	0	29	347	0	0	1	6
	高脂血症	0	0	0	0	0	0	0	0
	高度肥満	13	156	49	582	43	510	45	544
	糖尿病食	0	0	0	0	0	0	0	0
	濃厚流動	0	0	0	0	4	52	0	0
	他	213	2,556	177	2,138	148	1,778	92	1,102
	特食計	350	4,204	383	4,592	314	3,771	240	2,877
絶食		9	112	14	167	82	980	15	179
外泊		570	6,839	502	6,029	393	4,710	458	5,492
合計		2,711	32,526	2,537	30,444	2,030	24,359	2,153	25,565

※注釈

○食形態分類

常（常食）：特に刻まない普通の食事

粗（あらきざみ）：1.5cm位の大きさ

中（中きざみ）：1cm位の大きさ、幼児用スプーンですくって食べられる程度

極（極小さきざみ）：0.5cm位の大きさ

○幼児食は、幼児食Aと幼児食Bの合計。

○小児食（大）には、小児食（特大）を含む。

※栄養基準による分類

区分	幼児食B	幼児食A	小児食(小)	小児食(中)	小児食(大)	小児食(特大)
年齢の目安	1～2	3～5	6～9	10～11 16～18女	12～15女	12～18男
エネルギー(kcal)	1100	1400	1600	1800	2000	2300
たんぱく質(g)	35	50	65	70	75	85
脂質(g)	30	40	50	55	60	70
糖質(g)	170	210	220	250	290	300
カルシウム(mg)	450	600	600	700	700	900
鉄分(mg)	5	6	8	9	10	10

②親子棟における栄養相談

親子棟入院児に対して、昼食時に管理栄養士が栄養相談を実施しています。同時に、調理員が調理方法や食事形態等の希望を聞き取り、食事作りに反映しています。

『おやつは、幼児にとっては第4の食事』という考えで、できるだけ手作りおやつを提供しています。

親子棟における栄養相談件数（実相談人員）（表②）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度	8	6	7	11	8	10	10	4	6	6	10	14	100
R4年度	10	9	9	14	13	7	13	4	8	10	10	11	118
R3年度	8	2	9	10	10	8	11	8	9	8	8	8	99
R2年度	4	4	13	11	13	6	10	9	8	9	8	13	108
R元年度	7	6	11	14	15	13	13	10	9	7	8	12	125

③栄養指導

医師の栄養指導依頼票により、予約制で栄養指導を行っています。

入院児への栄養指導数（表③）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
栄養指導数		13	10	12	15	10
内 訳	管理栄養士のみの指導	11	10	12	15	10
	歯科医師、STの 合同摂食指導	2	0	0	0	0

④行事食・お楽しみメニューの実施

節分・ひな祭・子どもの日・七夕など、行事にあわせ、季節を盛り込んだメニューを提供しています。また、1学期の終業式にお楽しみメニュー、2学期の終業式にクリスマスメニュー、3学期のエール会にお祝膳を提供しています。

七夕のニュー



お楽しみメニュー



クリスマスメニュー



お祝い膳



Ⅶ 薬局・検査・X線撮影

Ⅰ 薬局業務

- ①調剤 ②注射薬の供給 ③血液業務 ④外来・入所児の薬歴管理
 ⑤院内製剤 ⑥医薬品の品質管理 ⑦向精神薬・麻薬・毒薬の管理
 ⑧医薬品の発注 ⑨消毒薬の供給 ⑩医薬品の情報収集・提供

(1) 令和5年度月別調剤件数

区分	外来処方箋			入院処方箋			合計		
	枚数	調剤数	延調剤数	枚数	調剤数	延調剤数	枚数	調剤数	延調剤数
4月	30	44	448	82	142	1,630	112	186	2,078
5月	21	34	379	82	143	1,631	103	177	2,010
6月	19	25	276	112	226	2,530	131	251	2,806
7月	26	35	330	105	222	3,065	131	257	3,395
8月	23	36	425	93	168	2,068	116	204	2,493
9月	19	28	224	145	352	4,543	164	380	4,767
10月	22	34	473	169	392	4,491	191	426	4,964
11月	21	31	303	145	291	3,033	166	322	3,336
12月	22	28	367	134	245	2,547	156	273	2,914
1月	25	35	235	120	211	2,406	145	246	2,641
2月	24	39	605	117	212	2,292	141	251	2,897
3月	22	25	341	135	251	3,180	157	276	3,521
合計	274	394	4,406	1,439	2,855	33,416	1,713	3,249	37,822

(2) 令和5年度月別麻薬・注射箋・院外処方箋枚数

区分	麻薬処方箋	注射箋	院外処方箋
4月	0	11	784
5月	2	7	807
6月	1	8	861
7月	1	7	808
8月	1	11	799
9月	1	9	816
10月	1	14	870
11月	1	9	865
12月	3	9	874
1月	0	13	796
2月	0	9	809
3月	2	11	843
計	13	118	9,932

(3) 令和5年度血液使用状況

実績なし

(4) 年度別調剤件数等

区分	外来処方箋			入院処方箋			合計		
	枚数	調剤数	延調剤数	枚数	調剤数	延調剤数	枚数	調剤数	延調剤数
平成31年度	415	657	7,183	1,653	3,247	38,057	2,068	3,904	45,240
令和2年度	307	535	7,054	1,253	2,201	25,222	1,560	2,736	32,276
令和3年度	213	311	4,282	1,341	2,074	23,501	1,554	2,385	27,783
令和4年度	291	449	5,992	1,250	2,470	28,288	1,541	2,919	34,280
令和5年度	274	394	4,406	1,439	2,855	33,416	1,713	3,249	37,822

区分	麻薬処方箋	注射箋	院外処方箋(a)	外来処方箋(b)	院外処方箋率(a/(a+b)*100)
平成31年度	42	148	8,544	415	95.4%
令和2年度	38	130	8,714	307	96.6%
令和3年度	40	124	9,206	213	97.7%
令和4年度	31	128	9,547	291	97.0%
令和5年度	13	118	9,932	274	97.3%

2 臨床検査業務

生化学検査や血液検査などの検体検査は外部委託している。主な検査業務は次のとおり。

- 1) 脳波検査（一般及び睡眠賦活） 2) 心電図検査（自律神経検査を含む）
 3) 脳波ビデオモニタリング検査 4) その他（感染症迅速検査、血球数・分類検査等）

(1) 令和5年度 月別検査件数

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳波検査	17	4	7	11	20	10	8	9	10	5	4	12	117
聴性脳幹反応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱画像検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誘発筋電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心電図	12	8	15	13	13	10	14	13	16	9	8	17	148
(12誘導)	(4)	(2)	(4)	(7)	(5)	(1)	(7)	(6)	(8)	(2)	(4)	(9)	(59)
(CV R-R)	(8)	(6)	(11)	(6)	(8)	(9)	(7)	(7)	(8)	(7)	(4)	(8)	(89)
肺機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳波病棟モニタリング	2	0	0	4	5	2	2	2	4	1	4	4	30
その他	0	0	2	1	0	0	4	0	0	0	3	1	11
合計	31	12	24	29	38	22	28	24	30	15	19	34	306

(2) 年度別検査件数

検査区分	年度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
脳波検査	139	129	108	105	117
聴性脳幹反応	1	0	0	0	0
誘発筋電図	0	0	0	0	0
心電図	177	139	128	131	148
(CVR-R)	(75)	(64)	(54)	(67)	(89)
肺機能検査	1	0	0	0	0
脳波病棟モニタリング	36	24	14	27	30
その他	26	19	9	3	11
合計	380	311	259	266	306

3 X線撮影業務

(1) 年度別撮影等枚数

区 分\年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一 般 撮 影		3,643	3,704	3,641	2,824	2,607
ポ ー タ ブ ル	病 棟	20	23	33	31	7
	手術室	161	182	219	190	68
透 視		1	2	0	0	0
画像処理(CT除)		223	167	221	162	217
合 計		4,048	4,078	4,114	3,207	2,918

(2) 月別業務件数(令和5年度)

(単位:件)

区 分\月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一 般 撮 影		108	101	126	162	168	128	128	123	130	149	118	142	1,583
ポ ー タ ブ ル	病 棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	7
	手術室	0	1	1	1	1	1	1	1	3	0	0	2	12
手術室(イメージ)		0	1	1	1	1	1	1	1	3	0	0	2	12
透 視		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C T		0	1	0	0	1	1	3	0	1	0	0	0	7
画像処理(CT除)		18	12	21	7	20	20	13	18	16	14	25	23	207
合 計		126	116	149	171	191	151	146	143	153	163	146	173	1,828

(3) 月別X線撮影部位別撮影数調(令和5年度)

(単位:回)

区 分\月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
単 純 撮 影	胸部	一般撮影	7	1	2	5	3	3	5	8	6	5	8	9	62
		ポータブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腹 部		3	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	8
	全 脊 椎		12	16	9	18	25	15	10	11	12	15	13	21	177
	骨盤～ 大腿	一般撮影	0	0	0	0	0	4	0	2	2	0	0	0	8
		ポータブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	骨盤～ 下肢	一般撮影	4	9	14	14	20	16	19	5	13	14	6	17	151
		ポータブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肩～上肢		4	0	2	0	0	2	0	0	2	2	2	0	14
	股関節	一般撮影	79	65	74	87	107	77	87	87	75	81	65	73	957
		ポータブル	0	11	0	0	11	0	0	11	10	0	3	15	61
	足 部	一般撮影	83	81	85	88	90	48	69	53	75	90	80	88	930
		ポータブル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
	その他	一般撮影	25	18	34	68	49	57	62	39	41	63	35	45	536
ポータブル		0	0	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	10	
透 視		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小 計	一般撮影	217	190	220	280	294	225	253	205	226	270	209	254	2,843	
	ポータブル	0	11	2	2	11	2	2	11	14	0	3	17	75	
合 計		217	201	222	282	305	227	255	216	240	270	212	271	2,918	

VIII 心理業務

心理業務では、6名の心理士（常勤4名、非常勤2名）が、外来及び病棟・親子棟において心理検査、プレイセラピー、カウンセリング、思春期の集団心理教育（ソーシャル・スキル・トレーニング）等の心理療法（非常勤1名は小児心療科中心）、ペアレント・トレーニングや保護者への講話等の保護者支援を中心とした心理相談を行っています。

また、医師、療法士、保育士等の他職種と連携しながら集団療育に従事しています。検査結果について、情報提供の依頼があった保護者や関係機関あてに、診療情報提供書を作成しています。

①年度別心理検査件数

年度\検査	遠城寺	田中ビネ	K式	WISC	WAIS	TOM	DN-CAS	LD評価	K-ABC	その他	合計
R元年度	46	29	398	477	20	34	1	127	43	168	1,343
R2年度	43	28	371	538	18	15	0	162	81	394	1,650
R3年度	38	42	343	627	19	21	0	143	59	355	1,647
R4年度	18	28	418	610	11	20	0	118	55	346	1,624
R5年度	7	24	467	664	23	12	0	123	33	392	1,745

②年度別心理療法・心理相談人数

（単位：人数）

年度\種別	心理療法		心理相談	
	計	(再掲) SST	計	(再掲) ペアトレ
R元年度	637	—	127	22
R2年度	567	—	120	18
R3年度	575	116	244	120
R4年度	568	100	262	143
R5年度	482	86	255	110

（注1）R3年度より、相談人数（延べ人数）で整理して計上。

（注2）R3年度より、「心理療法」の「(再掲)SST」を計上。「(再掲)SST」については、思春期の集団心理療法（ソーシャルスキルトレーニング等）と個別で実施したソーシャルスキルトレーニング等に参加した延べ人数を計上。

（注3）「心理相談」の「(再掲)ペアトレ」については、保護者に対して集団及び個別で実施した延べ人数を計上。尚、ペアレントメンター講習会に参加した保護者も含めて計上。

③診療情報提供書作成件数

(単位：件数)

年度\提供先	保護者	学校・ 教育機関	幼稚園・ 保育園	通所支援 事業所	医療機関	その他	計
R元年度	722	0	1	4	68	11	806
R2年度	744	0	1	3	80	6	834
R3年度	692	23	1	1	48	7	772
R4年度	747	14	2	7	76	4	850
R5年度	836	4	2	1	69	8	920

研究・実習等

1. 研究発表・講演・著作等

①医局部門

○森山 薫、町 肇、井上 大嗣、宮崎 睦子、小柳 憲司：

学会発表「長期不登校児に対する短期入院の意義」

第18回日本小児心身医学会九州沖縄地方会 福岡、2023.3.12

○森山 薫、林田 拓也、井上 大嗣、山下 未央、松尾 光弘：

学会発表：「発達障害児の初診待機期間短縮に向けた地域施設との連携に関する調査報告」

第65回小児神経学会学術集会、岡山、2023.5.25

○井上 大嗣、森山 薫、山下 美央、里 龍晴、松尾 光弘：

2023年九州小児科学会優秀論文賞（和文部門）を受賞

原著論文：「小児在宅支援における親支援の重要性—親子入院による小児在宅支援の取り組み（第2報）—」

脳と発達（日本小児神経学会機関誌）2022年 54巻 3号 p.199-203

○井上 大嗣：講演「親子入院って、何をしてるの？—長崎県立こども医療福祉センターでの取り組み—」

鹿児島県 童仁会池田病院

○井上 大嗣、林田 拓也、森山 薫、山下 美央、松尾 光弘：

学会発表：「ペアレント・トレーニングと家族機能」

第65回小児神経学会学術集会、岡山、2023.5.25

○井上 大嗣、町 肇、森山 薫、宮崎 睦子、小柳 憲司：

学会発表「ソーシャルスキルトレーニングの主観的効果と客観的効果の関係についての検討」

第41回日本小児心身医学会学術集会、和歌山、2023.9.15

○山下未央、町 肇、森山薫、林田拓也、井上大嗣、宮崎睦子、長岡珠緒、松尾光弘：

学会発表「地域療育連携外来による初診前療育開始の取り組み」

第65回小児神経学会学術集会、岡山、2023.5.25

○松尾光弘、森山 薫、町 肇、林田拓也、井上大嗣、山下未央、宮崎睦子、長岡珠緒：

学会発表「発達障害児の初診時長期待機の解消に向けた取り組み」

第65回小児神経学会学術集会、岡山、2023.5.25

○林田 拓也、森山 薫、井上 大嗣、山下 未央、松尾 光弘：

学会発表：神経発達症を合併したてんかんに対するラコサミドとペランパネル：精神症状の

観点から」

第 65 回小児神経学会学術集会、岡山、2023.5.25

- 小柳 憲司：論文「小児心身症の「標準的診断と治療」を目指して」
小児内科 第 55 巻 6 号、2023.6.1
- 小柳 憲司：論文「子どもの体調不良へのかかわり—起立性調節障害、生活リズムの乱れ、
不登校、ゲーム依存」
こころの科学 通巻 231 号、日本評論社、2023.9.1
- 小柳 憲司：講演「食べない子どもと食べられない子ども—小児・思春期の摂食障害につい
て」
令和 5 年度長崎県栄養士会生涯教育研修会、長崎市、2023.7.9
- 小柳 憲司：学会シンポジウム「子どもの睡眠障害—不登校との関わりから」
第 39 回日本ストレス学会学術集会、仙台市、2023.7.22
- 小柳 憲司：特別講演「不登校について知ろう—不登校の経過と関わる疾患について」
令和 5 年度島原市学校保健会総会、島原市、2023.8.24
- 小柳 憲司：基礎医学レクチャー「夜眠らない子どもと朝起きられない子ども」
第 41 回日本小児心身医学会学術集会、田辺市、2023.9.15
- 小柳 憲司：講演「学校に行けない子どもたち—不登校に関わる要因とその対応について考
える」
長崎玉成高校不登校研修会、長崎市、2023.11.18
- 小柳 憲司：講義「ちょっと気になる子どもたち—発達障害について」
チャイルドラインながさき受け手ボランティア養成講座、長崎市、2023.12.16
- 小柳 憲司：講義「医療現場における子ども虐待への対応」
令和 5 年度佐世保市総合医療センター虐待に関する研修会、佐世保市、2024.1.19
- 小柳 憲司：講義「発達障害をどのように理解するか」
令和 5 年度対馬保健所母子保健事業者研修会、対馬市、2024.2.22

②看護部門

- 本嶋 りさ：講義「発達に障害をもつ小児と家族の看護」
長崎県立シーボルト校、長与町 R5.7.4

○古井 智晴：全国肢体不自由児研究大会 東京都 R5.10.26-27
「先天性股関節脱臼の介達牽引療法に携わる看護師のスキル向上を目指して」

③リハビリ部門

○毎熊 美佳：講義「小児リハにおける F-words と GMFCS」
発達障害児地域医療体制整備事業 医療担当者向け学習会 対馬市 R6.3.13

○馬場崙 郁夫：講義「現場で活かせるポジショニング、シーティングについて」
子どものリハビリ研修会 佐世保市 R6.1.21

○前田 隼：講義「人間発達学」こころ医療福祉専門学校 長崎市 R5.5-7

○前田 隼：講義「障害別理学療法学Ⅳ（小児）」長崎リハビリテーション学院
大村市 R5.10-12

○前田 隼：講義「理学療法技術実習Ⅱ」長崎リハビリテーション学院 大村市 R5.12

○前田 隼：座長「第30回日本上田法治療研究会 学術集会」茨城県 R5.11.4~5

○前田 隼：講義・実技指導「上田法認定講習会上級コース／インストラクター育成コース」
上田法治療研究会 愛知県 R5.7.15~17

○前田 隼：学会発表「小児リハビリテーション MAP 長崎県版の認知度・活用度の調査報告
－小児リハビリテーション MAP 長崎県版の改訂に向けて－」
第33回長崎県理学療法学術大会 佐世保市 R5.9.2~3

○前田 隼：学会発表「小児リハビリテーション MAP 長崎県版作成の取り組み」
第27回長崎県国保地域医療学会 長崎市（Web） R5.10.28

○前田 隼：発表「県北肢体不自由児リハビリテーション連携事業の周知に係る医療機関訪問、
会議参加の取り組み」センター内職員発表会 R6.1.31

○峰松 由香：「姿勢管理について」センター内 病棟研修会 R5.9.25

○緒方 愛佳：「「ゴーゴーカー」を用いた動く支援」センター内職員発表会 R6.1.31

- 本嶋 裕幸：講義「肢体不自由児を支援するために（姿勢ケアとハンドリングの基本的な考え方について）」 地域療育従事者研修会（所内） R5.10.26

- 琴岡日砂代：講義「作業療法総合実習2」
長崎リハビリテーション学院 大村市 R5.4.28"

- 琴岡日砂代：グループ指導「日本感覚統合学会 認定講習会 B(解釈)コース」
日本感覚統合学会 大阪府 R5.7.15

- 琴岡日砂代：実技指導「日本感覚統合学会 認定講習会 A(評価)コース」
日本感覚統合学会 福岡県 R5.9.15～18

- 琴岡日砂代：講義「日本感覚統合学会 入門講習会基礎コース」
日本感覚統合学会 Web R5.11.12

- 琴岡日砂代：講義「日本感覚統合学会 入門講習会基礎コース」
日本感覚統合学会 Web R6.1.21

- 琴岡日砂代：講義「日本感覚統合学会 JAPAN2 研修会」
日本感覚統合学会 Web R6.3.10

- 池田 敏博：講義「あそびと遊具の設定について」
あったかさん21 平戸市 R5.5.30

- 池田 敏博：講義「発達障害児への理解と支援～感覚統合療法の視点から～」
キッズステーションあいの 雲仙市 R5.6.2

- 池田 敏博：講義「こどもの行動と感覚統合」
地域療育従事者研修会（所内） R5.12.8

- 池田 敏博：講義「こどもの理解とこれからの支援」
県北地域医療従事者向け学習会 平戸市 R6.1.26

- 池田 敏博：講義「こどもの支援と地域の連携」
壱岐地域医療従事者向け学習会 壱岐市 R6.1.30

- 池田 敏博：講義「評価と支援の実践」
対馬地域医療従事者向け学習会 対馬市 R6.3.13
- 小田 弘海：講義「子どもの行動と感覚統合」 諫早デイケアネット 諫早市 R5.11.16
- 喜々津裕美：講義「発達に特性のある児の食に対する特徴と対応について」
(公社)長崎県栄養士会 公衆衛生協議会研修会 大村市 R5.11.23
- 喜々津裕美：講義「ことばの発達とコミュニケーション—家庭や保育施設等でできること—」
令和5年度平戸市子育て講演会 平戸市 R6.1.25
- 喜々津裕美：講義「こどもの理解とこれからの支援」
県北地域医療従事者向け学習会 平戸市 R6.1.26
- 鶴嶋 禎子：講義「ことばの発達とコミュニケーション —楽しく子どもと関わるために—」
療育研修会 新上五島町 R5.9.22
- 鶴嶋 禎子：講義「ことばの発達と行動面の理解 —楽しく子どもと関わるために—」
壱岐市療育研修会 壱岐市 R5.10.12
- 鶴嶋 禎子：講義「ことばの発達とコミュニケーション —楽しいやりとりと食事のために—」
地域療育従事者研修会(所内) R5.10.28
- 鶴嶋 禎子：講義「ことばの発達とコミュニケーション —楽しくやりとりするために—」
地域療育従事者研修会(所内) R5.12.8
- 鶴嶋 禎子：講義「多職種で行うことばの発達支援」
県南保健所管内母子保健関係者等研修会 島原市 R6.2.27
- 鶴嶋 禎子：講義「評価と支援の実践」
対馬地域医療従事者向け学習会 対馬市 R6.3.13

④地域連携室部門

地域支援班

- 松浦 恵子：講義「保育士が行う評価について 取り組みやすい発達評価について
—心理検査を活用してみよう—」
児童発達支援センター すぎのこ園 研修会 佐世保市 R5.10.4

- 松浦 恵子：講義「家族支援について～障害受容の視点から考える～」
地域療育従事者研修会（所内） R5.10.28

- 橋本 摩野：講義「発達障害児の理解と支援」
R5年度地域療育短期実習（所内）R5.6.20、7.4、8.1、9.5、10.3、11.21
R6.1.16、2.20
講義「発達障害の理解と援助」
R5年度地域療育短期実習（所内）R6.1.13、7.18、8.8、9.26、10.10、11.28
R6.1.23、2.13

- 橋本 摩野：講義「言葉の発達について」
「保護者支援の中の大切なこと-親も子どもも成長中-」
エミール（所内）R5.7.13

- 橋本 摩野：講義「発達障害の理解と支援」
ひまわりキッズ（所内）R5.9.12

- 橋本 摩野：講義「保育士が行う評価について」
児童発達支援センター すぎのこ園研修会（佐世保市） R5.10.4

- 橋本 摩野：講義「療育における子どもとの関わり方について」
キッズステーションあいの 雲仙市 R5.10.6

- 橋本 摩野：ワークショップ「玩具と道具を作ってみよう」
地域療育従事者研修会（所内） R5.10.26

- 橋本 摩野：講義「地域を支える保育士」
活水女子大学健康生活学部子ども学科 長崎市 R5.10.31

- 橋本 摩野：講義「研修を企画して学びをふやそう」
地域療育従事者研修会（所内） R5.12.8

- 橋本 摩野：講義「プログラムの立案と展開」
児童発達支援センター なないろハウス（所内）R6.1.9

- 橋本 摩野：講演「発達障害児の理解と行動」
島原市社会福祉協議会講演会 島原市 R6.1.22

相談支援班

- 相川 恵理：講義「発達障害を理解しよう！」
長崎県立鹿町工業高等学校 第1回特別支援教育校内研修会 佐世保市 R5.4.27

- 相川 恵理：講義「発達障害について」
令和5年度障がい児者施設職員初任者研修 長崎市 R5.6.16

- 栗田 薫：講義「子どもの発達特性への理解と対応」
西海市学童保育支援員研修会（障害児研修） 西海市 R5.6.19

- 栗田 薫：コーディネーター「発達障害と不登校・ひきこもり」
長崎県のつどい（NPO法人フリースペースふきのとう主催） 佐世保市 R5.6.25

- 栗田 薫：講義「発達障害のある子どもの支援に関する制度やサービスについて」
佐世保市特別支援教育コーディネーター連絡協議会全体研修会 佐世保市 R5.8.18

- 栗田 薫：講義「発達障害について」 長崎県警察学校新人研修 長崎市 R5.8.21

- 栗田 薫：講義「発達障害について」
活水女子大学健康生活学部子ども学科（所内） R5.8.22

- 相川 恵理：講義「発達障害のある方への支援～「なぜできない!？」の大切さ～」
長崎県立鹿町工業高等学校 第2回特別支援教育校内研修会 佐世保市 R5.8.30

- 栗田 薫：講義「発達障害について知ろう～発達障害の理解と対応について～」
時津町こころの健康講座 時津町 R5.9.28

- 相川 恵理：講義「みんなにやさしい子育てのヒント」
森山公民館子育て応援講座 諫早市 R5.10.26

- 相川 恵理：講義「みんなにやさしい就労支援～発達障害へのアプローチから学ぶ～」
諫早市自立支援協議会（就労部会）研修 諫早市 R5.11.7

- 相川 恵理：グループワーク テーマ「発達障害の支援方法」
長崎県立鹿町工業高等学校 第3回特別支援教育校内研修会 佐世保市 R5.11.20

- 相川 恵理：講義「発達特性のある児童と性」
九州児童自立支援施設職員研修会 長崎市 R5.11.27
- 相川 恵理：講義「発達障害とは」
長崎市主任児童委員自主研修会 長崎市 R5.12.18
- 栗田 薫：講義「発達障害について理解しよう！～発達障害の理解と対応について～」
ながさき県政出前講座 長与町 R5.12.21
- 相川 恵理：講義「みんなにやさしい就労支援～発達障害へのアプローチから学ぶ～」
特定非営利活動法人ラポール諫早職員勉強会 諫早市 R6.1.26

⑥育成部門

- 小西尚代：講義「こども医療福祉センターにおける幼児保育について」
R5年度地域療育短期実習 R5.7.11、9.12、10.17
- 小西尚代：講義「当センターにおける幼児保育について」
地域療育従事者研修会 肢体不自由児編 R5.10.27
- 丸田 潤：講義「保育所等訪問支援/お遊び教室での支援について」
児童発達支援センターACTしまばら 職員研修会、R5.5.18
- 丸田 潤：講義「療育における支援について」 あったかさん21 職員研修会、R5.5.31
- 丸田 潤：講義「当センターにおける超早期療育について」
児童発達支援センター ポランのひろば 職員研修会、R5.6.7
- 丸田 潤：講義「ペアレンジャー養成講座について」
児童発達支援センター すぎのこ園 職員研修会、R5.6.29
- 丸田 潤：講義「事業所における園支援、地域との連携について」
新上五島町子ども発達センター あおとり 職員研修会、R5.7.5
- 丸田 潤：講義・グループワーク「みんなで考えよう、子ども達の行動の理由、具体的な支援方法」 令和5年度 第7回ホープセミナー、R5.11.22

○丸田 潤：講義「発達に特性がある子の理解と対応について」

令和5年度地域療育従事者研修会 小児発達編、R5.12.8

⑦心理部門

○川嶋 夏帆：講義「感情のコントロールが難しい子どもの理解と支援方法について」

島原特別支援学校（島原市）R5.10.26

○中村 有菜：講義「子どもの行動理解と関わり方」

幼児期・学童期の発達支援研修会 R5.11.16

○大田 一人：講義「保護者への支援～ペアレントトレーニングを中心に」

地域療育従事者研修会 小児発達編 R5.12.7

2. ボランティア活動

ボランティア受入実績 0件

新型コロナウイルスが5月より第5類に移行したため、ボランティア受け入れについて再開したが、令和5年度は希望者なし。

3. 実習受入(過去5年間)

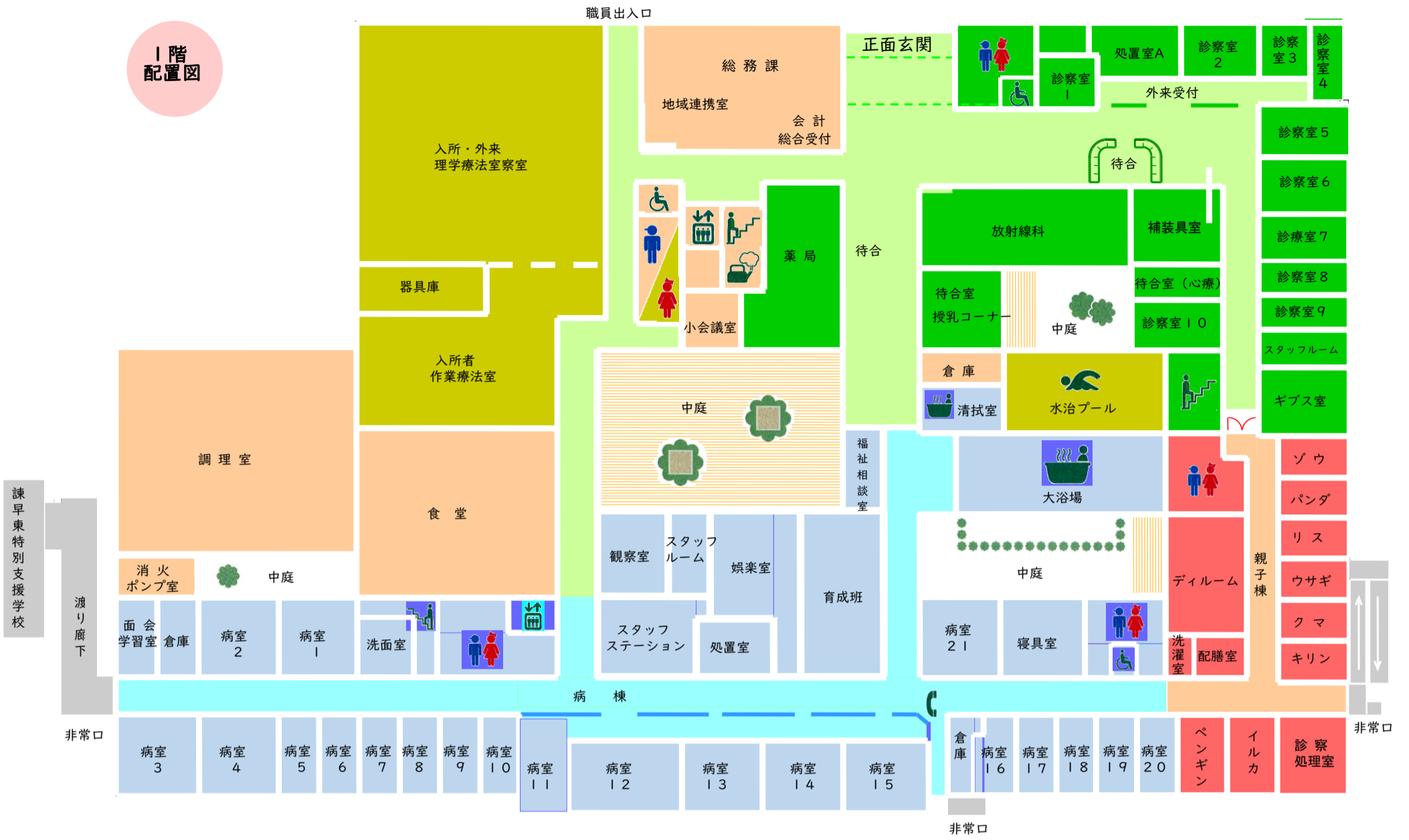
職種	学校名	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
保育士	長崎女子短期大学	2	2	2	2	2
	長崎短期大学	1	2	1	1	2
	西九州大学	1				
	活水女子大学	1	1	2	3	1
	佐賀女子短期大学	1				
インターンシップ	長崎県立大学	1	1			
	長崎大学		3			
	長崎純心大学	1				
	九州大学	1				
	長崎女子短期大学	1				
職場体験	諫早農業高校	2				
理学療法士	長崎大学医学部保健学科	2	1	3	3	2
	長崎リハビリテーション学院	2	6	4	3	3
	長崎医療技術専門学校	2	2	7	4	2
	こころ医療福祉専門学校	2	2	5	2	2
作業療法士	長崎大学医学部保健学科	13	14	2	2	2
	長崎医療技術専門学校	1	1	5	3	2
	長崎リハビリテーション学院			1	3	2
言語聴覚士	九州保健福祉大学		1	2	1	1
	福岡国際大学				1	
	国際医療福祉大学		1	1	2	1
	長崎リハビリテーション学院		2	3	3	5
管理栄養士	長崎国際大学	2				
看護師	活水大学看護学部	72	73	43	70	30
	活水大学子ども学科		9	3	8	7
	向陽高校衛生看護専攻科	37	41	23	40	39
	島原市医師会看護学校	34	39	33	38	44
合計		179	201	140	189	147

※その他視察等受入

- ・タイ国マヒドン大学理学療法学部、生物医工学部視察受入 R5.6.23(金)
マヒドン大学(准教授、講師等) 6名
同行者(通訳・補装具業者等) 3名

X 建物概要

1階
配置図



2階
配置図



【資料編】

(1) 入院患者数の推移

年度	病床数	延患者数	1日平均患者数	病床利用率
昭和47	160	55,937	152.8	95.5
48	160	52,406	143.6	89.7
49	160	47,876	131.2	82.0
50	160	45,648	125.1	78.2
51	160 (124)	44,477	121.5	76.0 (98.0)
52	160 (124)	44,513	122.0	76.2 (98.3)
53	160 (124)	35,731	97.9	61.2 (78.9)
54	160 (124)	34,774	95.3	59.5 (76.8)
55	160 (124)	34,149	93.3	58.3 (75.2)
56	160 (124)	33,759	92.5	57.8 (74.6)
57	160 (124)	36,916	101.1	63.2 (81.6)
58	160 (110)	37,961	104.0	65.0 (94.5)
59	160 (110)	33,552	91.7	57.3 (83.3)
60	110	32,483	89.0	80.9
61	110	30,919	84.7	77.0
62	110	32,688	89.6	81.4
63	110	31,442	85.9	78.1
平成元	110	31,027	85.0	77.3
2	110 (80)	28,346	77.7	70.6 (97.1)
3	110 (80)	26,629	73.0	66.3 (91.2)
4	110 (80)	21,907	59.9	54.4 (74.8)
5	110 (80)	23,756	65.1	59.2 (81.4)
6	110 (80)	24,400	66.8	60.8 (83.6)
7	110 (80)	23,862	65.4	59.4 (81.7)
8	110 (80)	23,086	63.1	57.3 (78.8)
9	110 (80)	22,538	61.7	56.1 (77.2)
10	110 (80)	21,323	58.4	53.1 (73.0)
11	110 (80)	18,840	51.6	46.9 (64.5)
12	110 (80)	18,960	51.8	47.1 (64.8)
13	60	17,387	47.6	79.4
14	60	17,853	48.9	81.5
15	60	15,722	43.1	71.8
16	60 (53)	13,708	37.5	62.4 (70.7)
17	60	14,918	40.9	68.1
18	60	16,315	44.7	74.5
19	60	15,086	41.2	68.7
20	60	14,437	39.6	65.9
21	60	13,364	36.6	61.0
22	60	13,226	36.2	60.4
23	60	14,179	38.7	64.6
24	60	13,373	36.6	61.1
25	60	12,635	34.6	57.7
26	60	12,475	34.2	57.0
27	60	13,239	36.2	60.3
28	60	12,951	35.5	59.1
29	60	12,346	33.8	56.4
30	60	11,060	30.3	50.5
令和元	60	12,433	34.0	56.6
2	60	11,596	31.8	52.9
3	60	10,756	29.5	49.1
4	60	8,622	23.6	39.4
5	60	9,425	25.8	43.0

(注1) 病床数は許可病床数で、()内の数字は実働稼働病床数。

(注2) 病床利用率は許可病床数に対する利用率で、()内の数字は実働稼働病床数に対する利用率。

(2) 外来患者数の推移

年度	延患者数		1日平均患者数	
	本所	通園部	本所	通園部
昭和47	2,607		8.8	
48	2,306		7.8	
49	2,823		9.5	
50	2,783		9.4	
51	3,130		10.5	
52	3,211		10.8	
53	3,959		13.3	
54	4,627		15.4	
55	5,749		19.4	
56	7,599		25.6	
57	8,395		28.3	
58	8,510	1,406	28.6	4.7
59	9,125	2,150	30.9	7.2
60	9,119	2,055	30.7	6.9
61	9,207	2,332	31.1	7.9
62	9,458	2,509	31.7	8.5
63	9,083	2,308	30.7	7.7
平成元	10,343	1,650	35.0	5.6
2	13,056	1,682	44.6	5.7
3	12,158	1,893	41.4	6.5
4	9,890	1,523	33.8	5.1
5	10,578	2,085	43.4	7.1
6	10,903	2,177	44.5	8.9
7	11,272	2,220	45.8	9.1
8	10,864	2,175	44.3	8.8
9	11,083	1,958	45.2	8.0
10	11,121	1,931	45.4	7.9
11	11,473	1,832	47.0	7.5
12	12,484	1,773	51.0	7.3
13	17,369	1,539	40.9	6.3
14	19,621	* 637	80.0	5.1
15	20,700		85.0	
16	20,812		85.6	
17	22,575		95.7	
18	24,636		100.6	
19	25,564		104.3	
20	25,995		107.0	
21	27,165		111.8	
22	27,025		110.8	
23	26,460		108.4	
24	26,620		109.1	
25	28,804		118.0	
26	28,317		116.1	
27	28,757		118.3	
28	29,200		120.2	
29	29,438		120.6	
30	29,461		120.7	
令和元	29,610		123.4	
2	29,872		121.4	
3	28,964		119.7	
4	29,585		121.7	
5	30,555		125.2	

(注) *は平成13年9月末で通園部廃止

のため、4~9月までの実績

(3) 入所・入院患者の病類別人員 (毎年10月1日現在)

(単位:人)

病類\年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
脳性麻痺	7	10		2	1	1	3	3	5		1
先天性股関節脱臼	3	1	1	5	3		4		2	4	3
骨系統疾患	2	3	3	1	2	1	3	1	2		4
ペルテス病		3	4	3	2	2					
側わん症		1			1						
内反足	1			1			1	1	5		
二分脊椎					1			1			
瘢痕拘縮											
大腿骨折後遺症								2			
大腿骨偽関節											
軟骨無形成症			2		2		2	1	1		
先天性脊椎骨端異形成症											
急性脳症後遺症				1	1	3	1				
神経発達症								2			
起立性調節障害									1	4	2
てんかん	3	1	1	2	2	1	2	3		1	
気分障害	3		3		2	3	3			1	3
摂食障害	2		1	1	2	2	1	1	2	1	2
概日リズム睡眠・覚醒障害			1	9	2	2	1	2	3		
その他	14	16	15	5	13	15	22	17	13	10	11
内、適応障害								14	11	9	8
内、その他の整形疾患								3	2	1	3
合計	35	35	31	30	34	30	43	34	34	21	26

(4) 入所・入院患者の在所期間別 (毎年10月1日現在)

(単位:人)

在所期間\年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
0～1年未満	33	33	29	29	34	27	43	34	34	21	26
1～2年未満	1	1	2	1		3					
2～3年未満		1									
3～4年未満	1										
4～5年未満											
5年以上											
計	35	35	31	30	34	30	43	34	34	21	26

(5) 入所・入院患者の年齢別 (毎年10月1日現在)

(単位:人)

年齢\年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
0～1歳未満	2								2		
1～2歳未満	1		2	1			2		1	1	
2～3歳未満	1	1	1	2			1	1			
3～4歳未満	2	2				2	2				1
4～5歳未満	1	3	2	1	2	1		2		1	
5～6歳未満	3	2	2	2		1	1	1	3	1	
6～7歳未満		3	1	1	1		4			1	1
7～8歳未満	3		1	2	1	1	1		1		1
8～9歳未満		2	1	1	1		3		1	1	
9～10歳未満	1			1	2			2	1		1
10～11歳未満	2		2		1	1	1	1	4		2
11～12歳未満	1	4		1			1	1	2		1
12～13歳未満	2	1	1	1	3	1	3	4		1	1
13～14歳未満	4	3	3	2	7	6	3	5	4	4	3
14～15歳未満	2	8	6	7	9	11	11	9	9	8	11
15～16歳未満	7	4	7	6	7	6	9	6	4	3	3
16～17歳未満			1	2				1	1		
17～18歳未満	1										1
18歳以上	2	2	1				1	1	1		
計	35	35	31	30	34	30	43	34	34	21	26

(6) 外来患者の病類別延人員

(単位：人)

病類\年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
1 精神遅滞	2,052	2,025	1,663	1,541	1,379	1,258	1,305	1,269	1,184	1,110	1,136	1,309
2 コミュニケーション障害	1,267	1,533	1,367	1,642	1,743	1,753	1,518	1,907	2,349	2,693	2,887	3,065
3 自閉症スペクトラム障害	3,393	3,642	3,865	4,237	4,087	3,996	3,910	4,102	4,636	4,086	4,041	3,955
4 注意欠陥多動性障害	3,005	3,757	4,534	4,947	5,624	6,414	6,871	6,406	6,518	5,932	5,391	5,516
5 学習障害	234	231	228	232	278	308	279	236	235	155	179	164
6 発達性協調運動障害	11	86	175	202	437	416	485	422	300	282	301	298
7 運動発達遅滞	919	1,180	1,336	1,381	1,150	1,289	1,367	1,444	1,476	1,694	1,513	1,542
発達障害 小計	10,881	12,454	13,168	14,182	14,698	15,434	15,735	15,786	16,698	15,952	15,448	15,849
8 先天性股関節脱臼	298	400	252	195	209	236	174	206	203	169	140	140
9 脊髄髄膜瘤・脊髄破裂症	412	543	526	457	353	368	391	385	265	219	232	243
10 開排制限	54	169	187	365	579	701	803	846	1,017	1,083	912	956
11 ベルテス	57	51	37	46	61	58	56	50	37	63	46	34
12 斜頸	45	40	70	42	16	20	34	29	22	25	14	9
13 側わん症	333	337	256	239	244	232	148	121	159	118	92	83
14 四肢奇形	108	103	94	55	58	72	51	39	38	19	19	33
15 内反足	191	196	158	120	148	137	180	173	147	145	166	159
16 X脚・O脚	179	165	138	166	170	114	82	77	42	33	33	32
17 脳炎後遺症	470	439	347	266	197	170	150	132	163	128	116	112
18 片麻痺・対麻痺	329	315	307	265	256	223	187	132	130	102	97	104
19 骨形成不全	161	147	169	85	121	123	123	135	131	137	109	104
小児整形 小計	2,637	2,905	2,541	2,301	2,412	2,454	2,379	2,325	2,354	2,241	1,976	2,009
20 気分障害	687	610	524	379	262	188	147	136	122	128	103	106
21 不安障害	1,043	872	733	514	503	424	341	264	189	145	142	114
22 摂食障害	113	181	138	126	104	47	46	65	97	132	152	125
23 夜尿症・遺尿症	173	150	137	110	100	65	72	42	32	44	40	24
24 不登校	8	23	30	29	31	30	19	56	9	1	0	0
25 心身症	91	58	59	51	36	36	44	30	25	14	11	12
小児心療 小計	2,115	1,894	1,621	1,209	1,036	790	669	593	474	464	448	381
26 てんかん	2,878	2,677	2,497	2,428	2,339	2,227	2,165	2,044	1,805	1,583	1,532	1,592
小児神経 小計	2,878	2,677	2,497	2,428	2,339	2,227	2,165	2,044	1,805	1,583	1,532	1,592
27 脳性麻痺	3,729	3,639	3,217	2,952	2,695	2,650	2,485	2,332	2,010	1,759	2,012	2,007
28 ダウン症・染色体異常	1,057	962	799	715	893	786	585	497	411	333	343	374
29 その他	2,627	3,562	3,696	4,162	4,304	4,278	4,783	5,229	5,509	6,142	7,333	7,763
計	25,924	28,093	27,539	27,949	28,377	28,619	28,801	28,806	29,261	28,474	29,092	29,975

(注) この表と「(2) 外来患者数の推移」とは、集計方法の違いのため延患者数が一致しない部分がある。

(7) 外来患者の出身地別延人員

(単位：人)

出身地\年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
長崎市	3,591	3,705	3,330	3,237	3,245	3,222	3,198	3,306	3,396	3,384	3,503	3,544
佐世保市	705	838	732	670	606	587	612	682	608	570	594	558
島原市	1,166	1,302	1,193	1,202	1,201	1,300	1,256	1,204	1,153	1,132	1,231	1,327
諫早市	9,265	10,305	9,991	10,686	11,201	11,483	11,839	12,471	12,939	12,276	12,532	12,898
大村市	5,155	5,771	6,216	6,139	5,996	5,875	5,599	4,805	4,672	4,586	4,505	4,943
平戸市	127	151	152	159	138	170	192	173	148	149	155	215
松浦市	84	87	96	90	83	109	125	102	131	115	110	128
対馬市	45	39	21	6	22	17	10	23	9	17	19	22
壱岐市	9	5	34	37	6	8	9	8	19	12	11	12
五島市	79	52	39	46	51	59	46	38	22	30	23	26
西海市	306	323	284	337	290	252	172	176	177	169	226	220
雲仙市	1,780	1,762	1,838	1,798	1,947	1,956	2,178	2,515	2,743	2,912	2,908	2,939
南島原市	932	1,008	1,148	1,235	1,318	1,251	1,226	1,286	1,297	1,381	1,431	1,348
西彼杵郡	671	676	664	619	723	697	657	664	723	702	732	826
東彼杵郡	1,012	1,084	1,000	1,011	956	1,040	1,046	776	730	672	701	624
北松浦郡	51	42	17	26	33	31	40	65	62	39	31	29
新上五島町	72	52	20	26	25	13	12	4	18	12	22	26
他県	674	721	618	498	414	455	486	423	298	248	294	226
職員	200	170	146	127	122	94	98	85	116	68	64	64
計	25,924	28,093	27,539	27,949	28,377	28,619	28,801	28,806	29,261	28,474	29,092	29,975

(注) この表と「(2) 外来患者数の推移」とは、集計方法の違いのため延患者数が一致しない部分がある。

(8) 手術実績

①令和5年度病名別手術件数

(単位：件数)

病名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳性麻痺								1	1				2
先天性股関節脱臼		1											1
先天性内反足									1			1	2
ペテルス病							1						1
二分脊椎													0
先天異常(骨系統・代謝・奇形)		1	1	1		1						1	5
外傷													0
その他					1				1				2
計	0	2	1	1	1	1	1	1	3	0	0	2	13

②手術件数の推移

(単位：件数)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成元	6	6	11	9	7	3	5	11	6	3	6	1	74
2	5	7	6	7	7	2	11	8	2	6	3	8	72
3	6	6	8	8	9	5	11	7	6	6	7	6	85
4	6	3	6	11	5	6	5	5	6	10	6	8	77
5	7	6	9	11	2	5	8	4	4	7	8	11	82
6	8	6	15	10	11	6	10	7	5	7	5	11	101
7	4	3	6	8	3	8	4	10	4	5	4	6	65
8	6	6	7	7	6	3	6	9	6	5	2	5	68
9	3	4	2	5	6	4	7	6	3	3	4	10	57
10	4	3	6	9	8	6	8	4	7	7	6	5	73
11	3	5	6	7	5	1	7	5	7	5	7	9	67
12	5	4	5	7	6	6	10	8	3	5	8	3	70
13	6	6	4	10	5	8	9	7	5	7	5	8	80
14	5	5	5	11	10	4	6	7	6	10	3	4	76
15	7	9	7	12	6	5	6	6	3	6	4	7	78
16	8	8	5	11	7	10	4	9	10	4	5	8	89
17	5	3	5	11	3	7	3	8	8	7	2	7	69
18	6	4	8	9	11	8	8	6	8	4	6	5	83
19	3	7	6	8	8	5	8	10	6	6	10	6	83
20	2	9	3	8	6	4	6	5	10	6	6	3	68
21	3	5	6	8	12	6	9	5	5	6	3	8	76
22	8	7	7	8	4	7	3	3	8	7	7	2	71
23	5	1	8	9	8	6	2	3	7	4	2	8	63
24	3	7	4	11	9	7	8	11	3	7	4	6	80
25	8	6	9	3	10	8	9	3	6	8	4	7	81
26	5	5	7	10	12	9	8	5	6	8	9	9	93
27	1	4	5	10	6	7	7	6	5	3	8	9	71
28	9	8	6	7	11	6	9	4	2	4	2	5	73
29	2	4	4	6	10	6	3	5	3	5	3	7	58
30	4	4	3	8	6	1	1	6	3	2	4	3	45
令和元	2	4	3	5	5	3	2	5	2	3	3	5	42
2	2	1	4	3	4	3	2	3	2	5	5	4	38
3	1	2	5	5	5	2	5	4	2	4	2	4	41
4	3	4	1	2	6	1	3	3	4	3	1	0	31
5	0	2	1	1	1	1	1	1	3	0	0	2	13

(9) 訓練指導件数

(単位：延件数)

訓練内容\年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
脳血管疾患等 リハビリテーション	外来	24,658	26,036	25,509	23,640	24,006	26,659	27,773	24,217	24,578	25,052
	入院	10,696	8,316	8,105	9,294	8,277	10,615	9,283	9,512	10,756	8,570
運動器 リハビリテーション	外来	309	153	184	249	217	243	313	404	408	351
	入院	1,996	2,616	1,795	2,630	1,912	2,771	2,906	2,041	1,078	1,914
障害児(者) リハビリテーション	外来	56	71	72	69	90	69	83	28	53	40
	入院	906	309	4	2	0	0	0	22	12	9
摂食機能療法	外来										
	入院	204	356	296	285	250	289	319	457	521	603
通院精神療法	外来	9,633	12,807	13,482	14,600	14,387	14,404	16,283	17,153	18,233	19,358
通院集団精神療	外来	72	18	23	28	19	31	73	40	31	21
心身医学療法	外来										
てんかん指導	外来	1,298	1,180	1,156	1,174	1,013	704	18	974	1,348	1,391
小児運動器疾患指導	外来					91	37	34	135	291	206
小 計	外来	36,026	40,265	40,426	39,760	39,823	42,147	44,577	42,951	44,942	46,419
	入院	13,802	11,597	10,200	12,211	10,439	13,675	12,508	12,032	12,367	11,096
合 計		49,828	51,862	50,626	51,971	50,262	55,822	57,085	54,983	57,309	57,515

(10) 入所者の要介護の状況

(単位：人)

区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
食 事	全 介 助	6	2	3	3	4	8	5	4	3	5
	部分介助	3	6	1	0	2	4	1	1	2	2
	自 立	22	19	26	31	21	31	28	26	16	19
排 泄	全 介 助	8	2	4	4	4	12	5	6	5	7
	部分介助	6	7	7	3	4	2	4	2	0	5
	自 立	17	18	19	27	19	29	25	23	16	14
衣 服 着 脱	全 介 助	8	2	3	4	5	11	5	6	4	7
	部分介助	7	7	3	0	2	3	5	1	1	5
	自 立	16	18	24	30	20	29	24	24	16	14
保 清 入 浴	全 介 助	8	2	6	4	5	11	5	5	5	7
	部分介助	7	10	5	2	2	3	6	2	0	5
	自 立	16	15	19	28	20	29	23	24	16	14
移 動	全 介 助	7	3	3	4	2	11	5	5	4	7
	部分介助	2	10	3	4	5	3	2	1	1	5
	自 立	22	14	24	26	20	29	27	25	16	14
移 乗	全 介 助	15	7	5	4	2	11	7	6	4	7
	部分介助	1	5	4	5	5	3	1	0	1	5
	自 立	15	15	21	25	20	29	26	25	16	14
言 語	全 介 助	4	1	3	2	2	6	5	4	4	5
	部分介助	2	11	2	1	1	4	6	2	1	4
	自 立	25	15	25	31	24	33	23	25	16	17
理 解	全 介 助	4	3	3	3	2	6	5	4	4	4
	部分介助	2	8	2	1	1	4	1	2	1	3
	自 立	25	16	25	30	24	33	28	25	16	19
入 所 実 人 員	31	27	30	34	27	43	34	31	21	26	

(注1) 10月1日現在の在院児

(注2) 評価法は3段階とする。

全介助：FIM(機能的自立度評価法) 2~1

部分介助：FIM 5~3

自立：FIM 7~6

(注3) 「排泄」はFIMの「トイレ動作」と「排泄コントロール」を合わせる。

(注4) 母子入所児を含む。

(11) 障害児等療育支援事業（実績）

（単位：件）

事業名 年度	①訪問療育相談支援事業		②外来療育相談 支援事業	③地域生活特別 支援事業	④地域療育支援事業 (会議、研修、実 習、講座)	⑤施設への技術支援事 業(職員派遣、見学受 け入れ等)
	巡回療育相談	関係機関訪問				
H24	423	64	255	9	8	435
H25	368	72	517	7	8	335
H26	335	68	677	3	7	325
H27	300	59	459	6	9	234
H28	306	45	315	4	9	269
H29	261	55	331	7	9	290
H30	258	42	354	14	9	282
R元	222	55	261	22	9	254
R2	112	6	309	8	2	171
R3	186	21	610	20	7	133
R4	179	15	527	9	33	127
R5	139	11	652	15	33	139

(12) 医療等従事者（有資格者）研修（実績）

職 種	機 関 名	令和5年度	
		実人数	延日数
理学療法士	上五島病院	1	5
	長崎みなとメディカルセンター	1	1
	訪問看護ステーションあぶんぜ	1	3
作業療法士	ポランのひろば	1	3
	訪問看護ステーションかしまえ	1	1
	長崎みなとメディカルセンター	1	1
	市立大村市民病院	1	6
言語聴覚士	市立大村市民病院	1	5
	なないろハウス	1	1
管理者	訪問看護ステーションあぶんぜ	1	1
計		10	27

(13) 令和5年度障害児(者)巡回療育相談実施状況(一覧表)

保健所名	実施日	相談日数	相談数			判定(一部重複判定あり)								医局		リハビリ			総務(運転)	地域連携携室	関係機関					訪問相談		意見交流会、研修会等								
			新	継	計	A	B	C	D	E	F	G	整形Dr	小児Dr	PT	OT	ST	保健所			市町	医療機関	学校・保健	療育関係者	その他	件数	スタッフ	概要	参加者	計						
			要入院が必 ず 入 院 予 定 は	外来治療中	センター 診 が 必 要	の 巡 回 診 察 の み で	も 他 機 関 が 必 要 な 診 察 が あ る	他 機 関 と 連 絡 し て	終 了																											
県北保健所	① 5/17(水)~19(金)	3	6	0	6	10	0	0	2	2	0	4	2					内田	喜々津	原田	大田	○	○	○	○	○	0									
	② 9/13(水)~15(金)	3	6	4	10	16	0	0	3	2	0	6	5					内田	喜々津	原田	大田	○	○	○	○	○	0									
	③ 1/25(木)~26(金)(荒天で短縮)	2	5	8	13	17	0	0	2	3	0	4	8					内田	喜々津	原田	中村	○	○	○	○	○	0		平戸市子育て講演会「ことばの発達とコミュニケーション」講師 喜々津ST	児童の支援等に携わる職種及び保護者(会場:54人・オンライン89人)			143			
小計	3	8	17	12	29	43	0	0	7	7	0	14	15									○	○	○	○	○	0								143	
五島保健所	① 6/8(木)~6/9(金)	2	0	7	7	8	2	0	0	1	4	1	0	二宮		馬場寄				原田	赤羽	○	○	○	○	○	1	訪問相談ステーションPT他	五島中央病院との合同カンファレンス	保健所職員、市職員、医療機関			11			
	② 7/12(水)~14(金)	3	7	6	13	14	0	0	0	6	0	1	7				田島	藤田	原田	中村	○	○	○	○	○	0										
	③ 9/28(木)~29(金)	2	4	6	10	10	2	0	0	0	6	0	2	二宮		馬場寄				原田	松浦	○	○	○	○	○	0									
	④ 12/13(水)~15(金)	3	10	3	13	15	0	0	0	3	0	2	10				田島	藤田	原田	大田	○	○	○	○	○	0										
小計	4	10	21	22	43	47	4	0	0	10	10	4	19									○	○	○	○	○	1								11	
上五島保健所	① 6/15(木)~16(金)	2	0	6	6	6	0	0	0	1	5	0	0	川口		峰松				原田	松浦	○	○	○	○	○	0									
	② 8/23(水)~24(木)	2	5	3	8	8	0	0	0	2	4	0	2		井上		山縣	鶴嵩	原田	中村	○	○	○	○	○	0										
	③ 10/19(木)~20(金)	2	1	3	4	4	0	0	0	0	4	0	0	二宮		前田				原田	赤羽	○	○	○	○	○	0									
	④ 1/17(水)~19(金)	3	9	6	15	16	2	0	0	2	0	1	11		林田		山縣	鶴嵩	原田	大田	○	○	○	○	○	0										
小計	4	9	15	18	33	34	2	0	0	5	13	1	13									○	○	○	○	○	0									
志岐保健所	① 6/8(木) (対象無く中止)	0	0	0	0	0																					0									
	② 7/26(水)~27(木)	2	1	8	9	9	0	0	0	0	9	0	0	二宮		本嶋				原田	梯	○	○	○	○	○	1	訪問相談リハ、志岐市、保健所、補綴具業者他								
	③ 10/12(木)	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	林田		小田	鶴嵩			川嶋	川嶋	○	○	○	○	○	0	志岐地域療育研修会「ことばの発達と行動面の理解」講師 鶴嵩ST	市内保育所・幼稚園、志岐保健所、志岐市役所、志岐子どもセンター、			33				
	④ 11/30(木)~12/1(金)	2	0	9	9	10	1	0	1	0	8	0	0	川口		本嶋				原田	赤羽	○	○	○	○	○	1	訪問相談リハ、補綴具業者他、志岐市、保健								
小計	3	5	1	18	19	20	1	0	1	0	17	0	1									○	○	○	○	○	2								33	
対馬保健所	① 6/29(木) (荒天のため短縮)	1	1	4	5	5	0	0	0	3	1	0	1		町		池田	濱	原田	川嶋	○	○	○	○	○	0		研修会開催予定であったが航空機欠航により研修会は中止。								
	② 8/31(木)	1	0	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	川口		毎熊			原田	吉川	○	○	○	○	○	0										
	③ 11/16(木)~17(金)	2	3	3	6	6	0	0	0	3	1	0	2	井上			池田	濱	原田	中村	○	○	○	○	○	0		幼児期・学童期の発達支援研修会	保健所スタッフ、保育士、病院・教育関係者等			15				
	④ 2/1(木)~2(金)	2	0	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	二宮		井口			原田	赤羽	○	○	○	○	○	0										
小計	4	6	4	11	15	15	0	0	0	7	5	0	3									○	○	○	○	○	0					3回			15	
令和5年度 実績数 18回		38	58	81	139	159	0	0	8	29	45	19	51									○	○	○	○	○	3					4回			202	
令和4年度 実績数		38	80	99	179	202	7	0	6	27	48	22	91										○	○	○	○	2					3回			213	
令和3年度 実績数		41	74	112	186	206	0	0	0	14	69	20	68										○	○	○	○	1					2回			26	
令和2年度 実績数		20	40	72	112	129	0	0	21	9	46	18	35										○	○	○	○	0					5回			179	
令和元年度 実績数		40	84	138	222	250	4	0	27	45	66	28	80										○	○	○	○	1					10回			157	